

2022年3月期 決算説明会

ソフトバンク株式会社

2022年5月11日

免責事項

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本日のアジェンダ

1

2021年度 連結業績

2

2022年度 連結業績予想

3

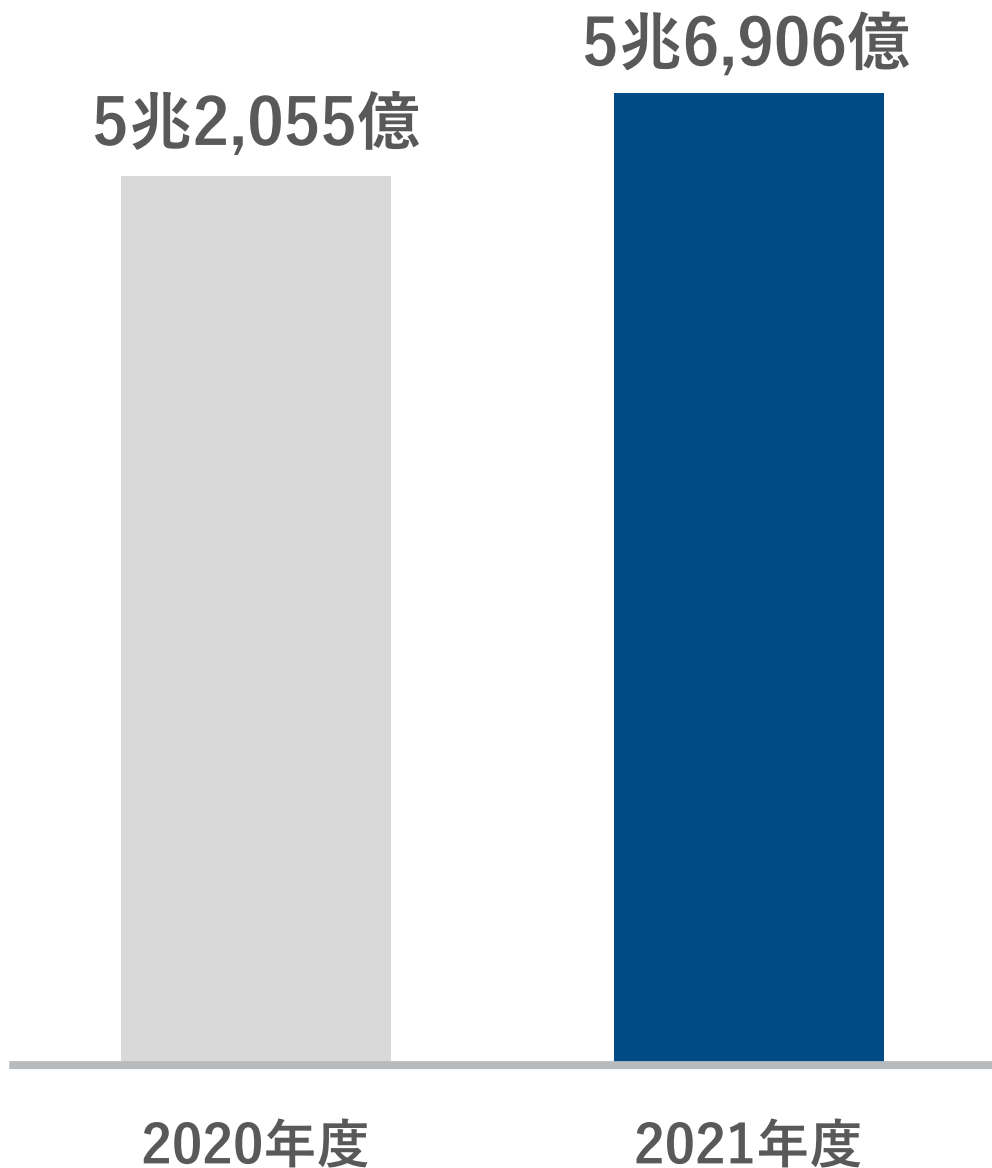
2023年度以降の考え方

4

事業別の取り組み

売上高

[円]

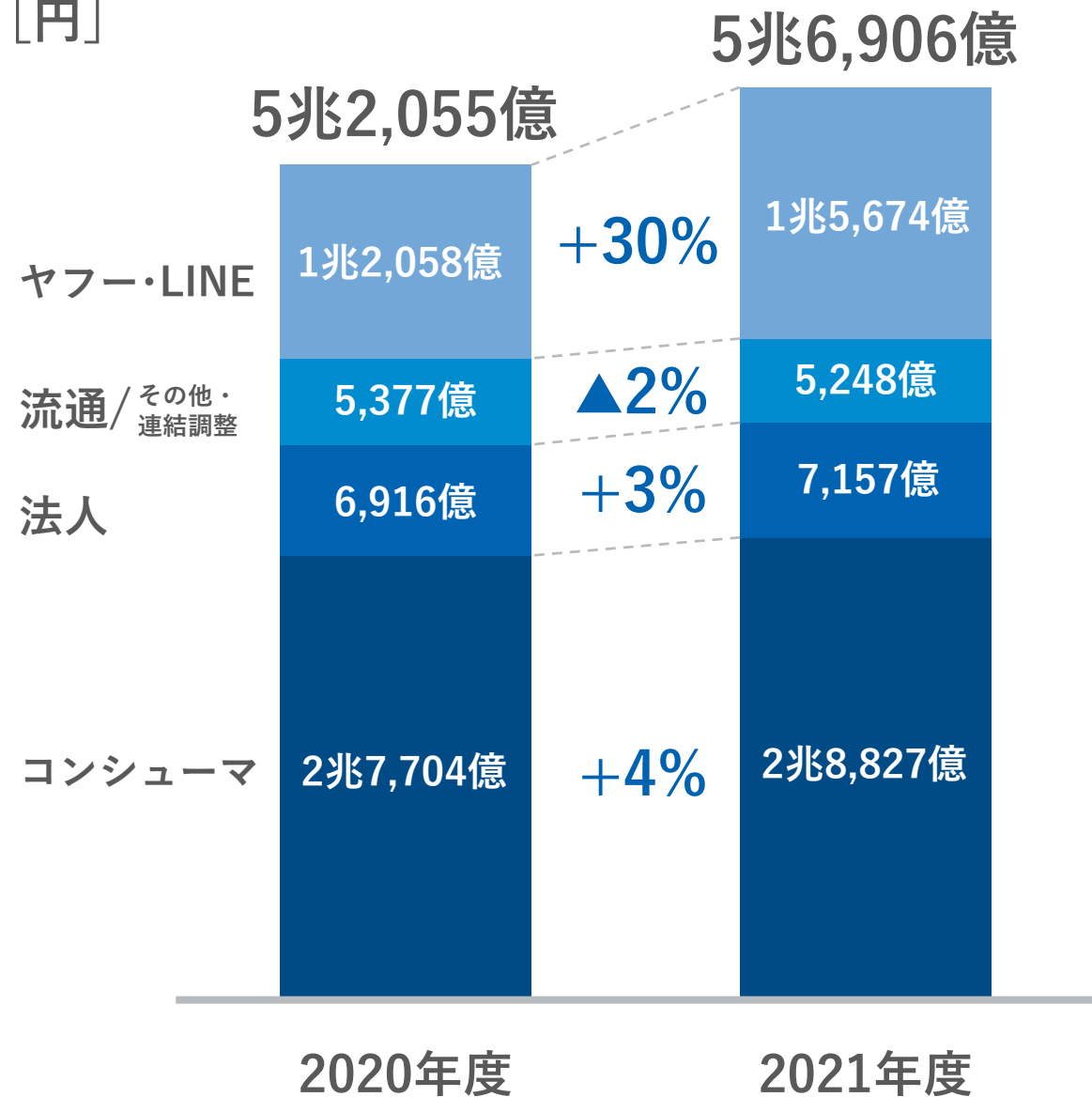


9%増収
(過去最高)

(注) 本資料において、増減について特に記載のない場合は前年比を指します。
また端数処理について、特に記載のない場合は表示単位の小数点第一位を四捨五入しています。

売上高 セグメント別

[円]



コンシューマ、法人
ヤフー・LINE
増収

(注) 2021年度より、Zホールディングス株式会社を示すセグメント名称を「ヤフー・LINE」へ変更しました。 4

営業利益

[円]

9,708億

9,857億

2020年度

2021年度

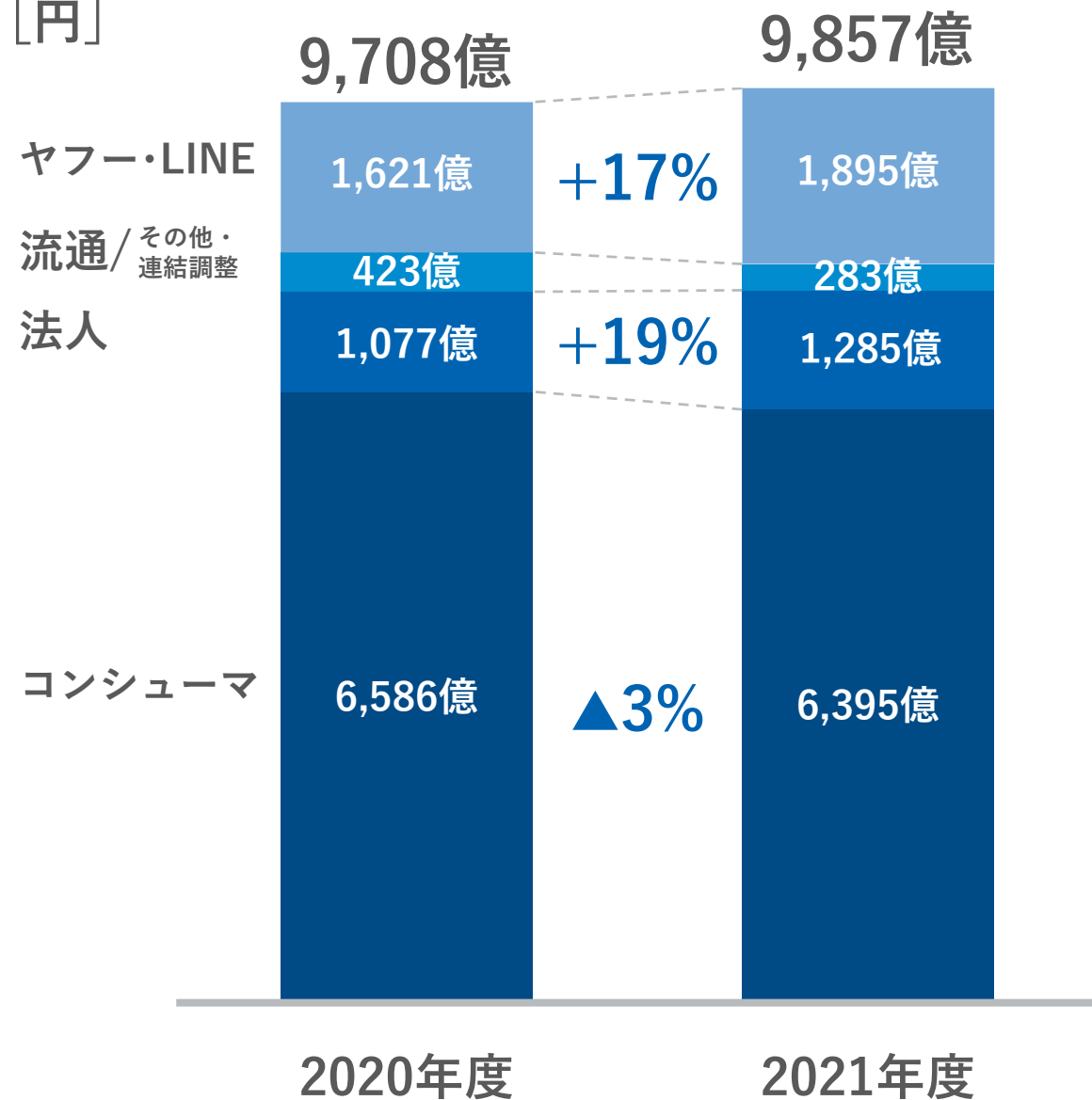
過去最高益 達成

(4期連続)

(前年比 2%増)

営業利益 セグメント別

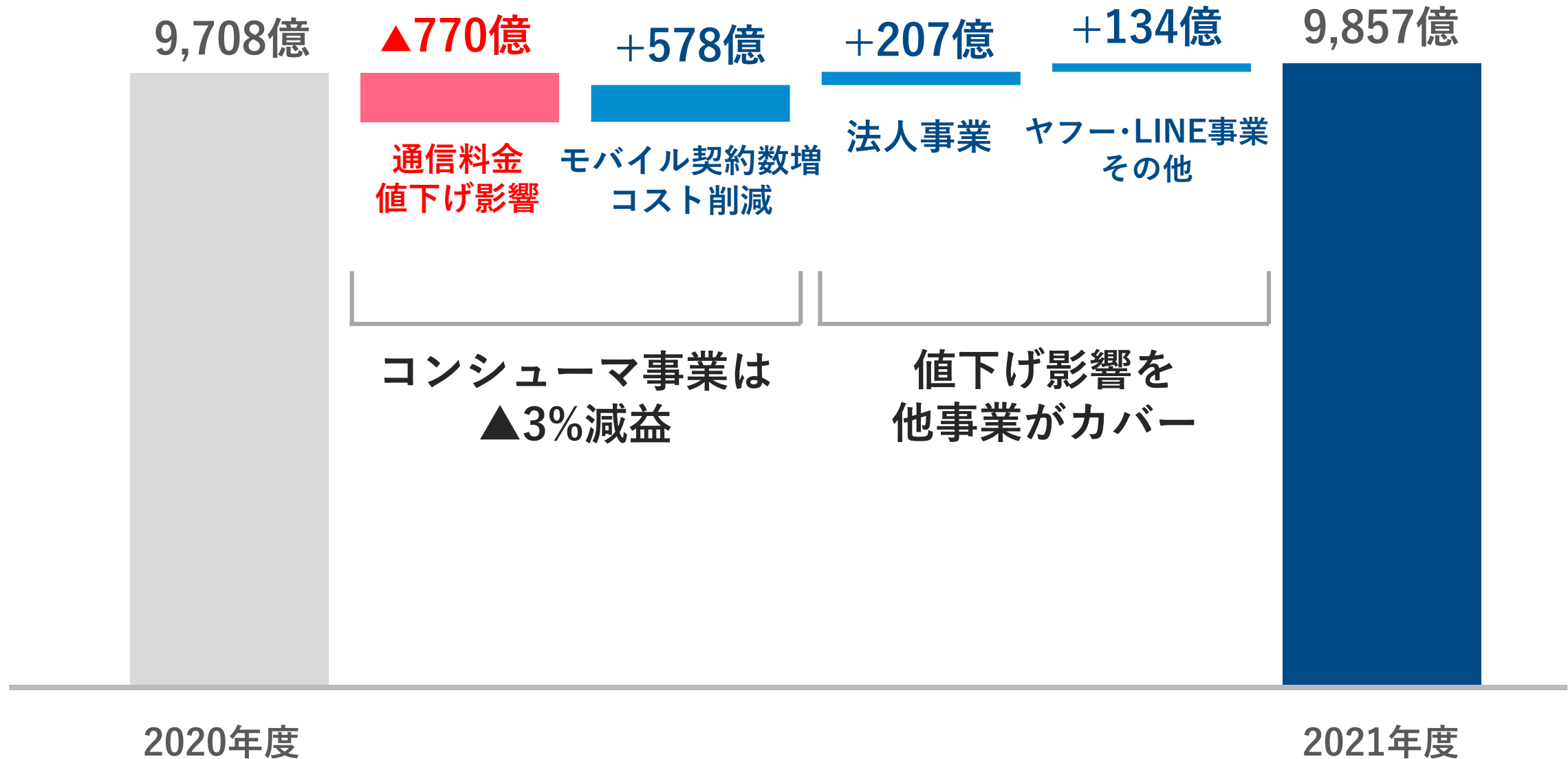
[円]



通信料値下げ影響の一方
法人とヤフー・LINEが
順調に増益

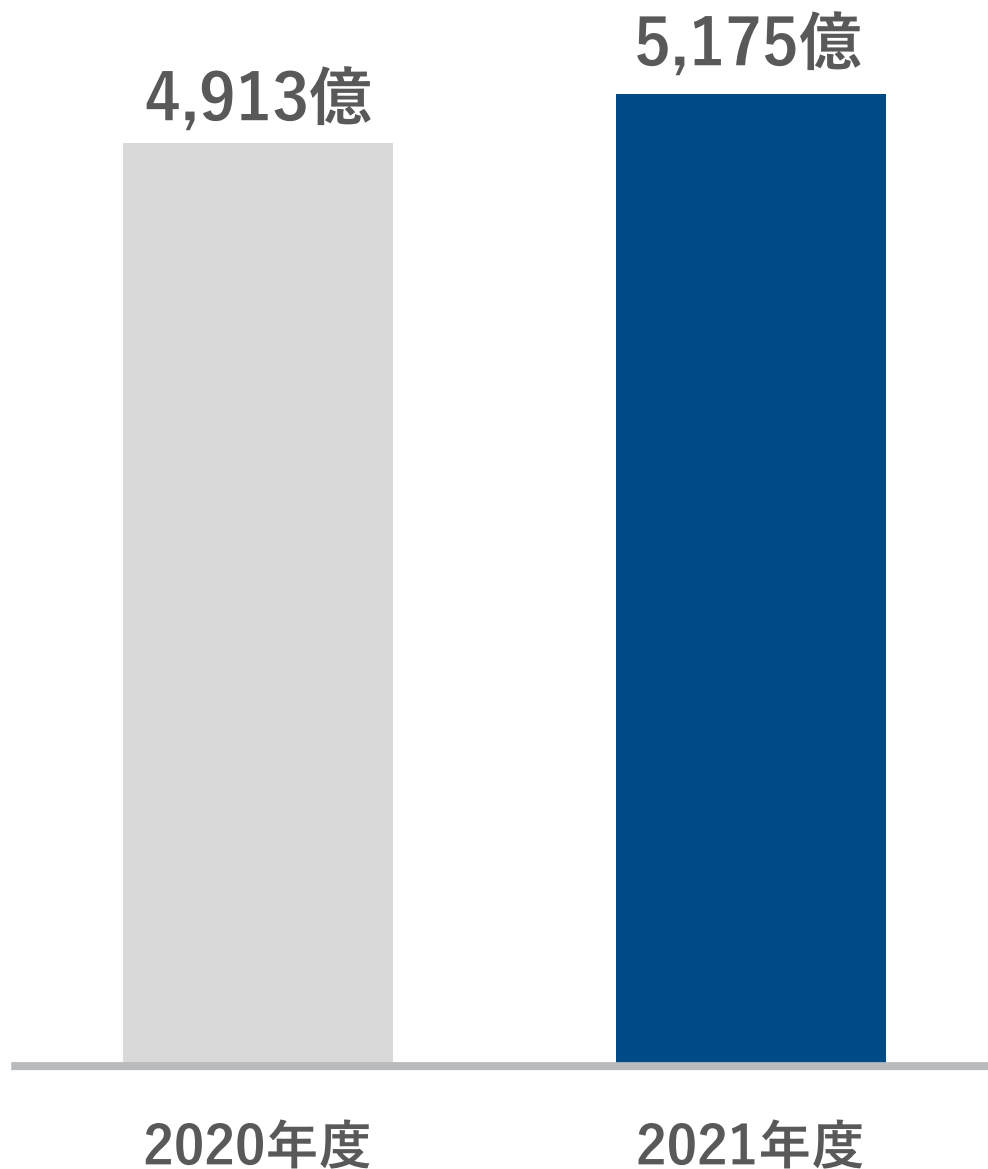
営業利益 増減分析

[円]



純利益

[円]



過去最高益 達成

(4期連続)
(前年比 5%増)

2021年度 連結業績（前年対比）

[円]

売上・利益ともに過去最高

	2020年度	2021年度	増減額	増減率
売上高	5兆2,055億	5兆6,906億	+4,851億	+9%
営業利益	9,708億	9,857億	+150億	+2%
純利益	4,913億	5,175億	+262億	+5%

2021年度 連結業績（期初見通し対比）

[円]

期初見通しを上回って着地

	期初見通し	実績	増減額	増減率
売上高	5兆5,000億	5兆6,906億	+1,906億	+3%
営業利益	9,750億	9,857億	+107億	+1%
純利益	5,000億	5,175億	+175億	+4%

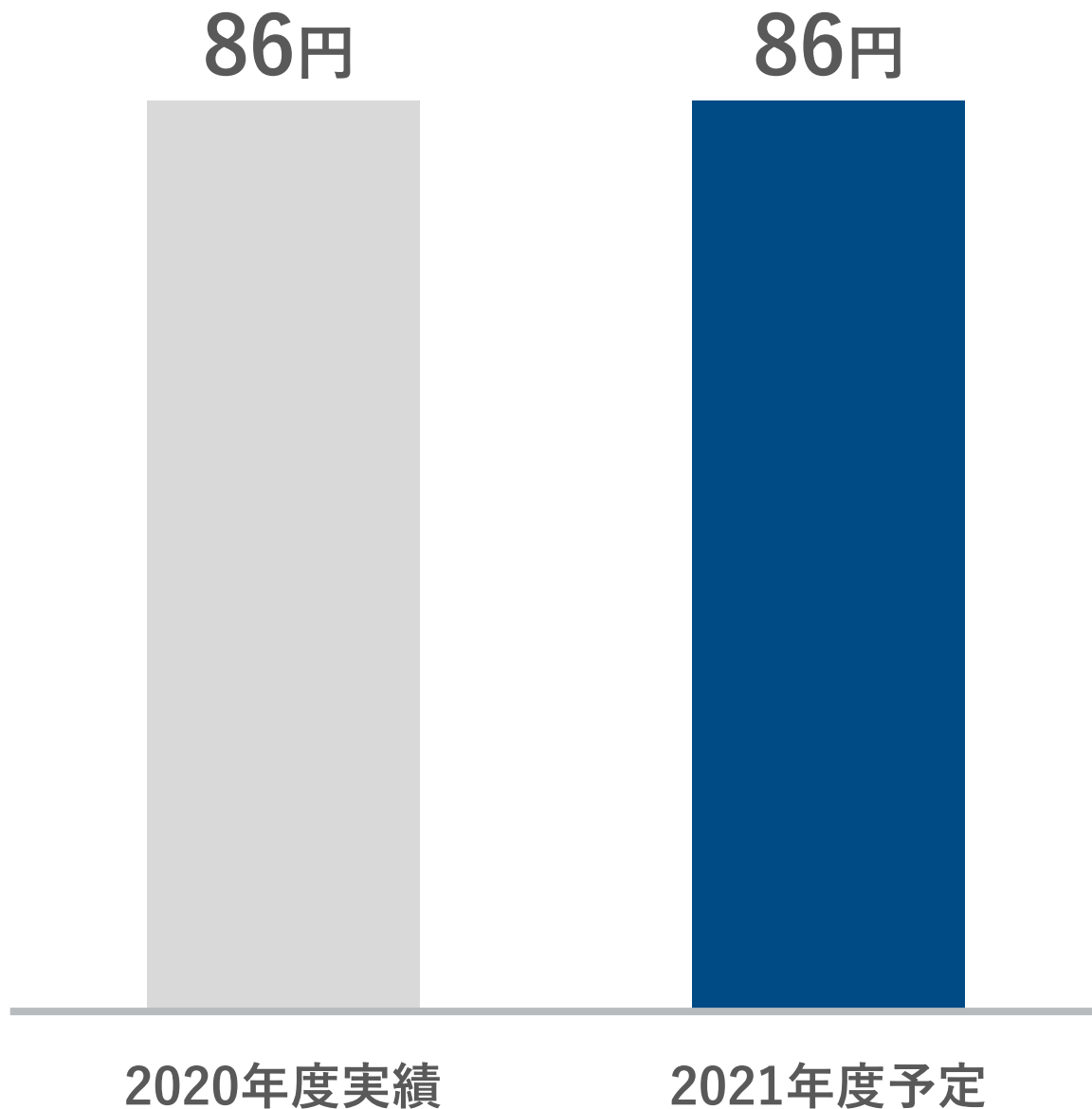
2021年度 セグメント別 営業利益（期初見通し対比） SoftBank

[円]

	期初見通し	実績	増減額	増減率
コンシューマ事業	6,420億	6,395億	▲25億	▲0.4%
法人事業	1,280億	1,285億	+5億	+0.4%
流通事業	225億	229億	+4億	+2%
ヤフー・LINE事業 +その他	1,825億	1,949億	+124億	+7%
全社計	9,750億	9,857億	+107億	+1%

(注) 2021年度通期業績予想は2021年5月公表値です

一株当たり配当金（年間）



期初予想通り
年間 **86円** [予定]

本日のアジェンダ

1

2021年度 連結業績

2

2022年度 連結業績予想

3

2023年度以降の考え方

4

事業別の取り組み

2022年度 経営方針

1

営業利益1兆円の中期目標を達成へ

2

5Gの展開を加速するための集中投資

3

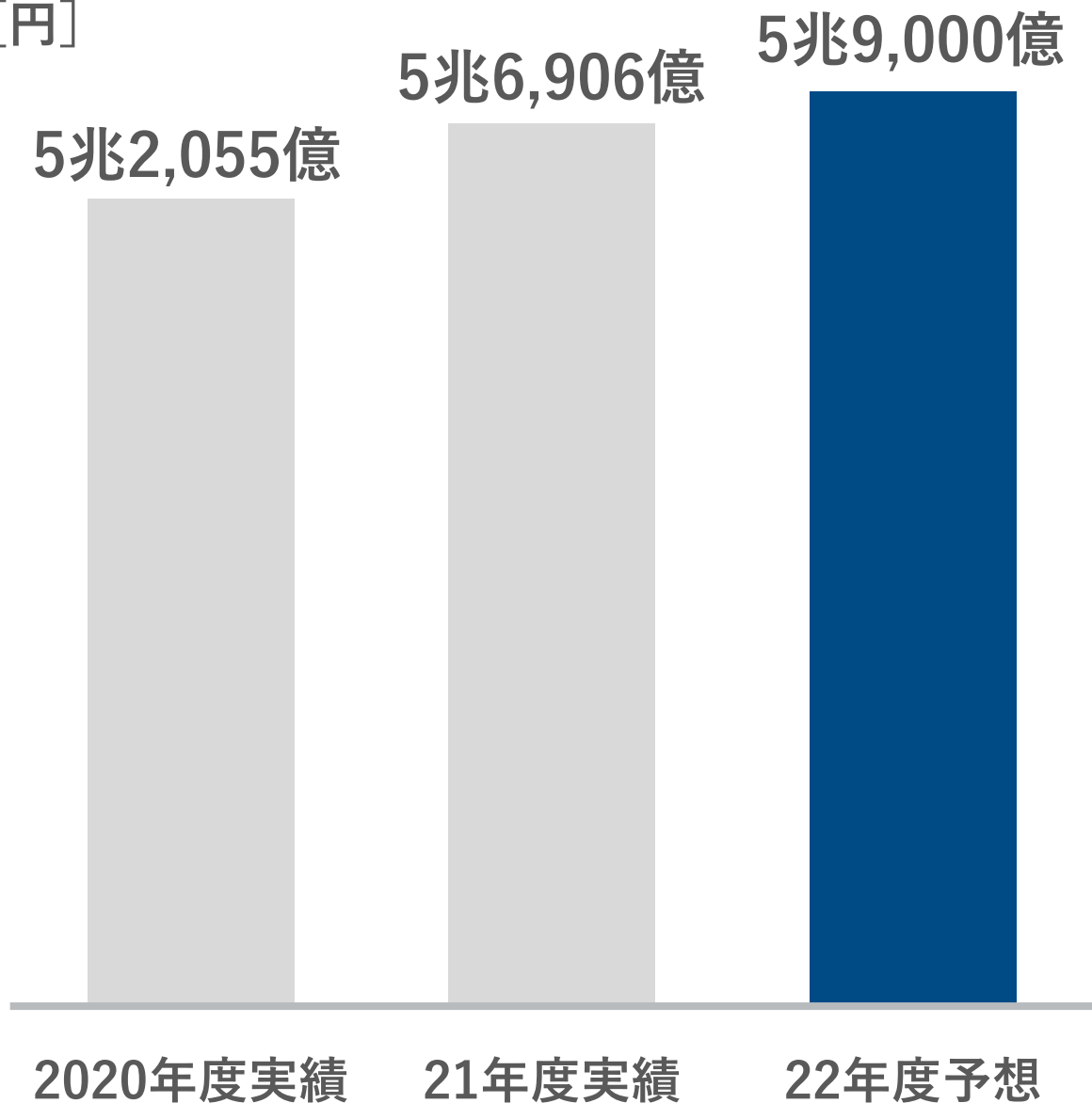
フリー・キャッシュ・フロー 6,000億円を創出

4

高水準の株主還元を維持

売上高

[円]

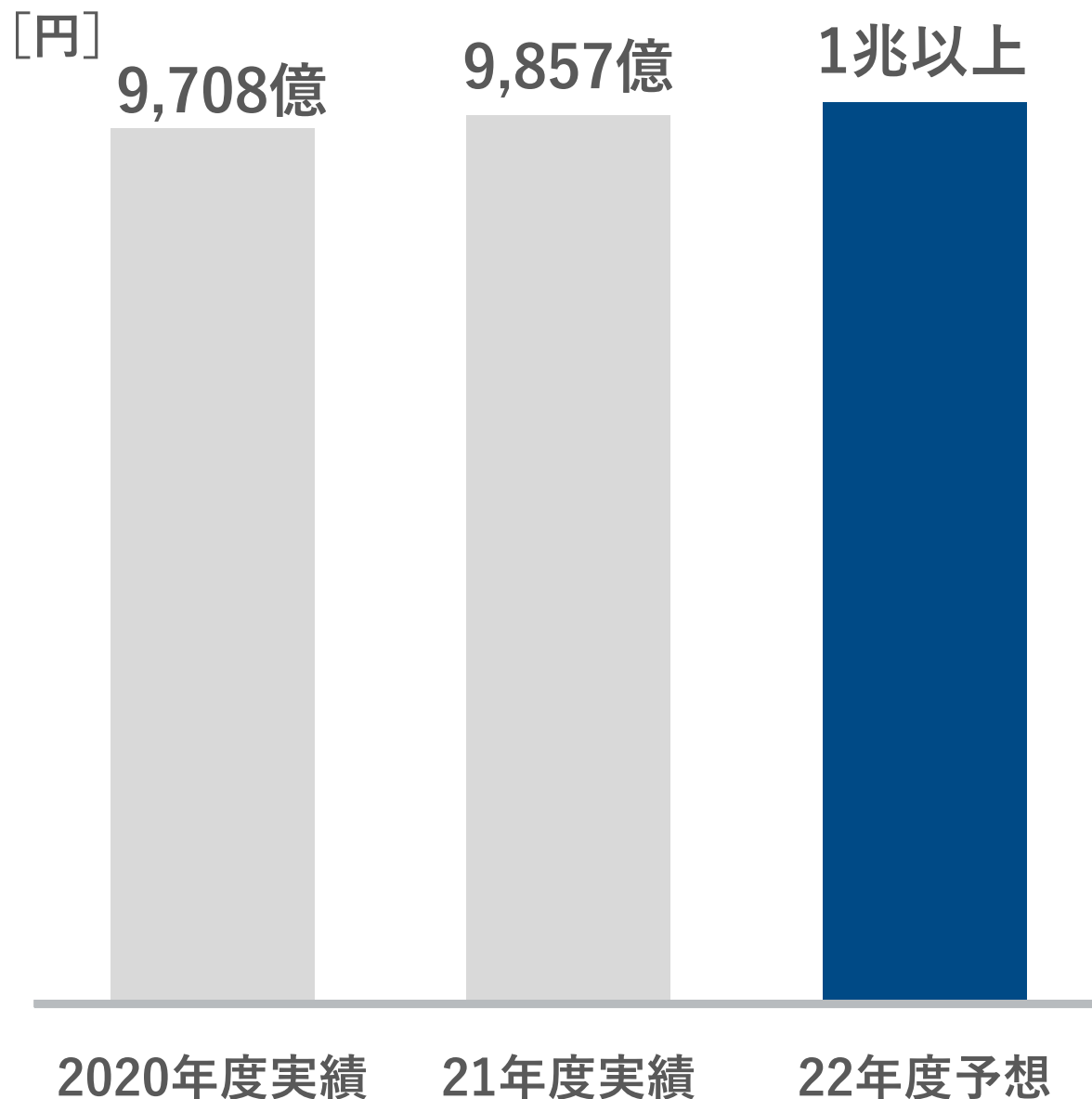


2022年度予想
売上高

5.9兆円

(前年比 4%増)

営業利益



2022年度予想
営業利益
1兆円以上
(前年比 1%以上増)

純利益

[円]

4,913億

5,175億

5,300億以上

2022年度予想
純利益

5,300億円以上

(前年比 2%以上増)

2020年度実績

21年度実績

22年度予想

2022年度 業績予想（目標対比）

[円]

中期業績目標を上回って達成見込み

	2020年8月発表 (中期業績目標)	今回発表	差異
売上高	5兆5,000億	5兆9,000億	+4,000億
営業利益	1兆	1兆以上	+ α
純利益	5,300億	5,300億以上	+ α

2022年度 セグメント別 営業利益予想

[円]

	2021年度 実績	2022年度 予想	増減額	増減率
コンシューマ事業	6,395億	4,800億	▲1,595億	▲25%
法人事業	1,285億	1,500億	+215億	+17%
流通事業	229億	235億	+6億	+3%
ヤフー・LINE事業+その他 (PayPay連結影響含む)	1,949億	3,465億以上	+1,516億 以上	+78% 以上
全社計	9,857億	1兆以上	+143億 以上	+1% 以上

(注) PayPay連結影響には、PayPay株式会社の子会社化に伴う段階取得に係る差益、子会社化後の同社営業損益、および子会社化に伴い認識する識別可能な無形資産の償却費の見積りを含みます。当社およびヤフー株式会社が保有する優先株式に係る転換権が全て行使されることによりPayPay株式会社は当社の子会社となります。なお、当該転換権の行使にはPayPay株式会社の株主間で一定の合意が成立することが前提となります。

2022年度 セグメント別 営業利益予想

[円]

9,857億

1兆以上

ヤフー・LINE
/その他

1,949億

+1,516億
以上
(+78%以上)

3,465億以上

流通

229億

法人

1,285億

+215億
(+17%)

235億

1,500億

コンシューマ

6,395億

▲1,595億
(▲25%)

4,800億

2021年度実績

2022年度予想

セグメント

増減要因

ヤフー・LINE
+その他

コマース、金融等への成長投資
PayPay連結影響

法人

モバイル、ソリューションなどの
売上増

コンシューマ

通信料値下げ影響 ▲900億円
販売関連費の増加など ▲600億円
契約数の増加による増益
電気の市況悪化による影響 など

(注) PayPay連結影響には、PayPay株式会社の子会社化に伴う段階取得に係る差益、子会社化後の同社営業損益、および子会社化に伴い認識する識別可能な無形資産の償却費の見積りを含みます。当社およびヤフー株式会社が保有する優先株式に係る転換権が全て行使されることによりPayPay株式会社は当社の子会社となります。なお、当該転換権の行使にはPayPay株式会社の株主間で一定の合意が成立することが前提となります。

5Gネットワーク

SoftBank

5G 加速!
SoftBank

2022年3月
人口カバー率 **90%** 達成



2022年度は5Gに集中投資

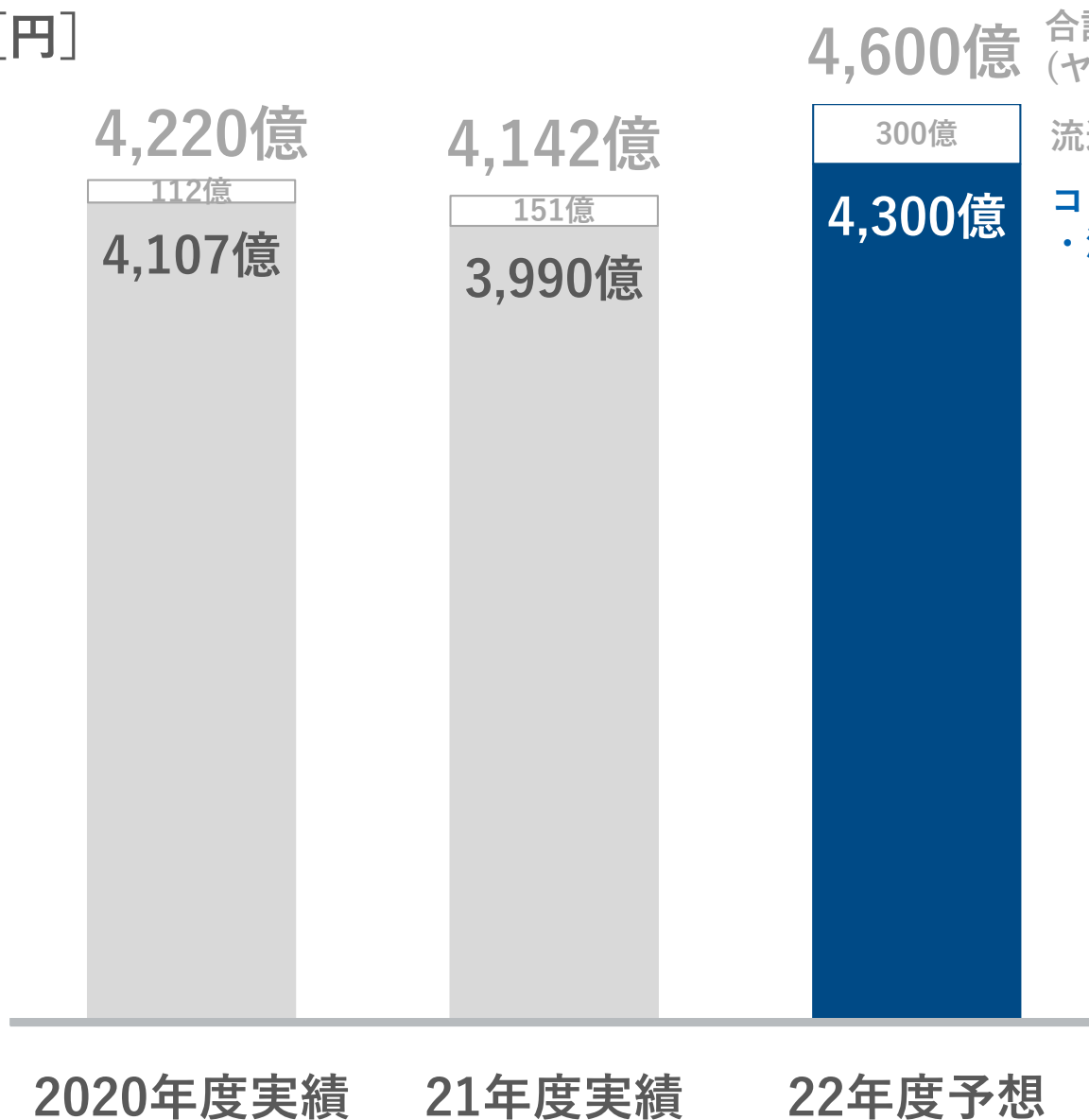


+



設備投資

[円]



合計
(ヤフー・LINE事業を除く)

流通・その他事業

コンシューマ
・法人事業

2022年度予想
設備投資
(コンシューマ事業・法人事業)

4,300億円
(前年比 8%増)

調整後フリー・キャッシュ・フロー

[円] 7,139億

5,797億

6,000億

2022年度予想

調整後フリー・キャッシュ・フロー

6,000億円

(前年比 3%増)

2020年度実績

21年度実績

22年度予想

(定義) 調整後フリー・キャッシュ・フロー：フリー・キャッシュ・フロー＋(割賦債権の流動化による調達額－同返済額) (注) Aホールディングス株式会社およびZホールディングスグループのフリー・キャッシュ・フロー、LINE株式会社との経営統合に伴う子会社の支配獲得による収支、LINE株式取得の影響、役員への貸付、2022年度のPayPay株式会社の業績影響などを除き、Aホールディングス株式会社およびZホールディングス株式会社からの受取配当を含みます。

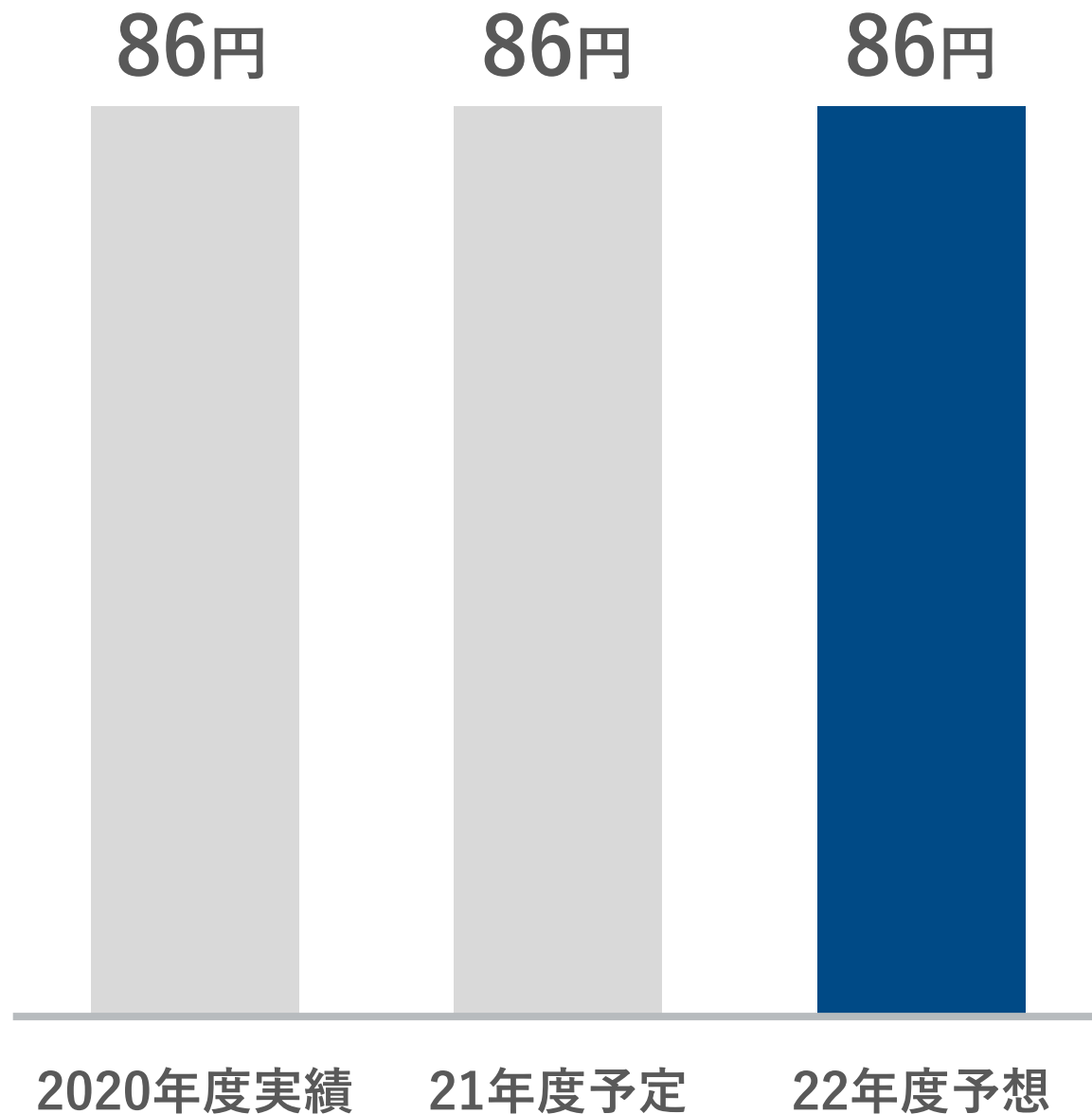
2022年度 業績予想（前年対比）

[円]

	2021年度 実績	2022年度 予想	増減額	増減率
売上高	5兆6,906億	5兆9,000億	+2,094億	+4%
営業利益	9,857億	1兆以上	+143億 以上	+1% 以上
純利益	5,175億	5,300億以上	+125億 以上	+2% 以上
調整後フリー・ キャッシュ・フロー ^{*1}	5,797億	6,000億	+203億	+3%
設備投資 ^{*2} (コンシューマ事業・法人事業)	3,990億	4,300億	+310億	+8%

(※1) Aホールディングス株式会社およびZホールディングスグループのフリー・キャッシュ・フロー、LINE株式会社との経営統合に伴う子会社の支配獲得による収支、LINE株式取得の影響、役員への貸付、2022年度のPayPay株式会社の業績影響などを除き、Aホールディングス株式会社およびZホールディングス株式会社からの受取配当を含みます。(※2) 検収ベース。法人向けレンタル端末および他事業者との共用設備(他事業者負担額)にかかる投資額は除きます。IFRS第16号適用による影響を除きます。

一株当たり配当金（年間）



高水準の還元 継続

本日のアジェンダ

1

2021年度 連結業績

2

2022年度 連結業績予想

3

2023年度以降の考え方

4

事業別の取り組み

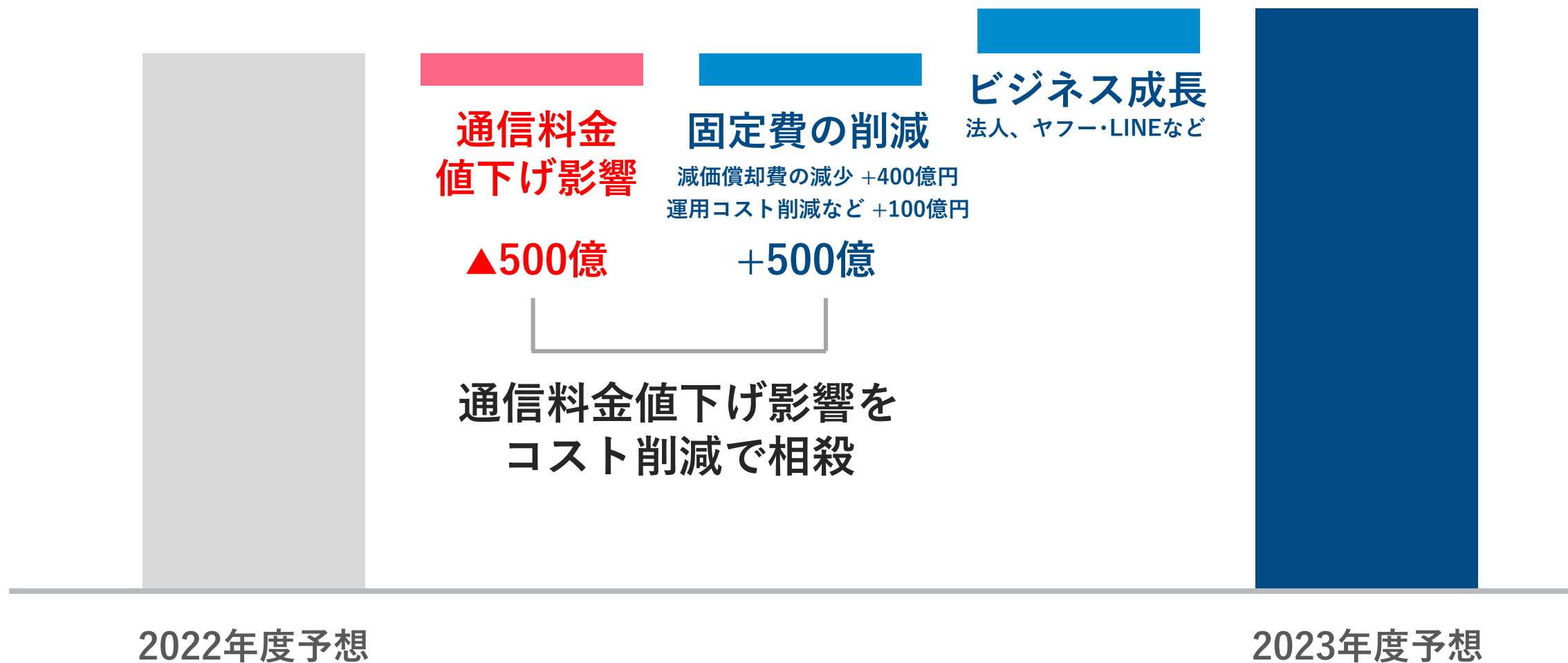
2023年度以降の考え方

- 1 通信料値下げ影響が一巡し ビジネス成長で増益
- 2 固定費の削減効果が発現
- 3 5G投資が一巡し 設備投資が大幅減
- 4 安定的なフリー・キャッシュ・フローの創出

営業利益（PayPay連結影響を除く）

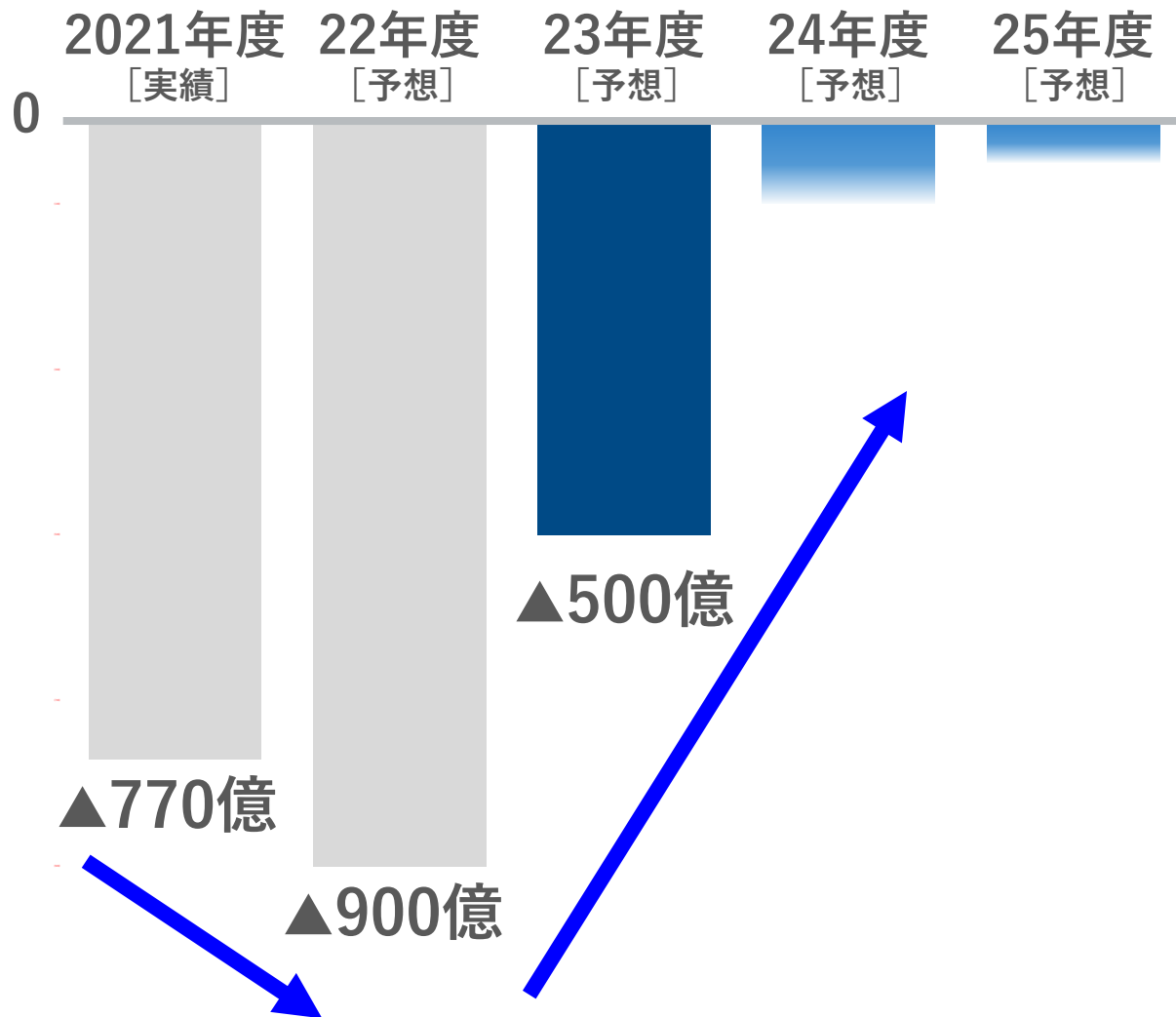
[円]

2023年度はビジネス成長で増益を目指す



通信料値下げ影響

< 2021年春の通信料値下げに伴う業績影響額(前年対比) >



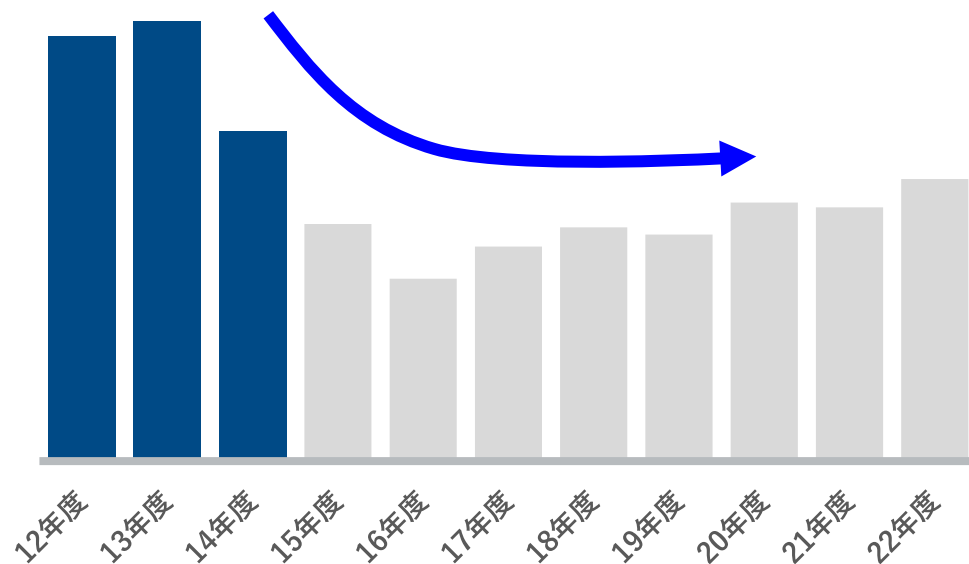
通信料値下げによる減益影響

2022年度を底に
大幅に縮小

減価償却費の減少

過去の大型設備投資の償却が終了し
償却費が縮小フェーズ

■ 設備投資推移

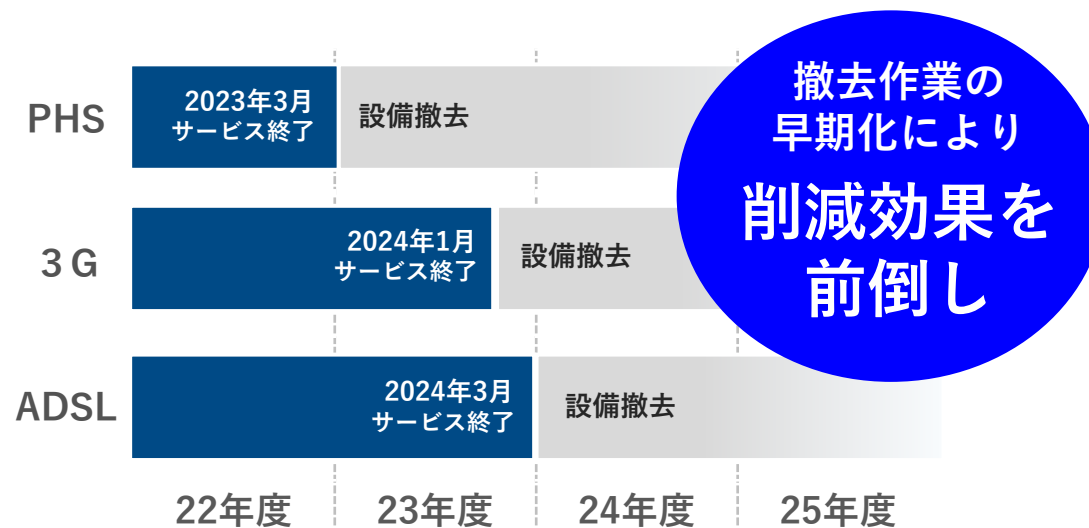


3G・PHS・ADSLのサービス終了に伴う ネットワーク運用コストの削減

基地局賃料、電気代、通信設備費など

総額 約**200億円**

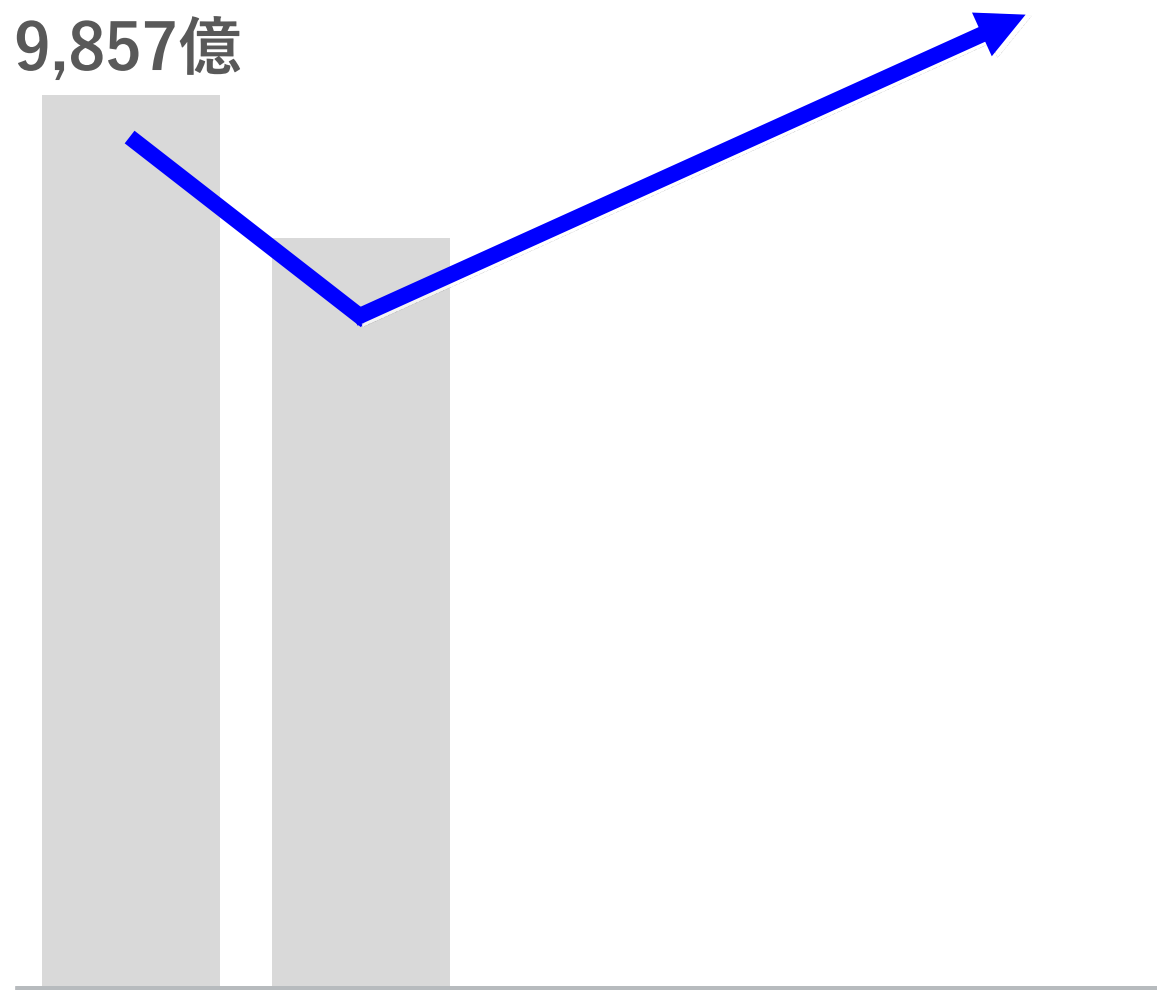
(このうち約40億円が2023年度に発現)



営業利益（PayPay連結影響を除く）

[円]

9,857億



2021年度 22年度 23年度 24年度 25年度

[実績]

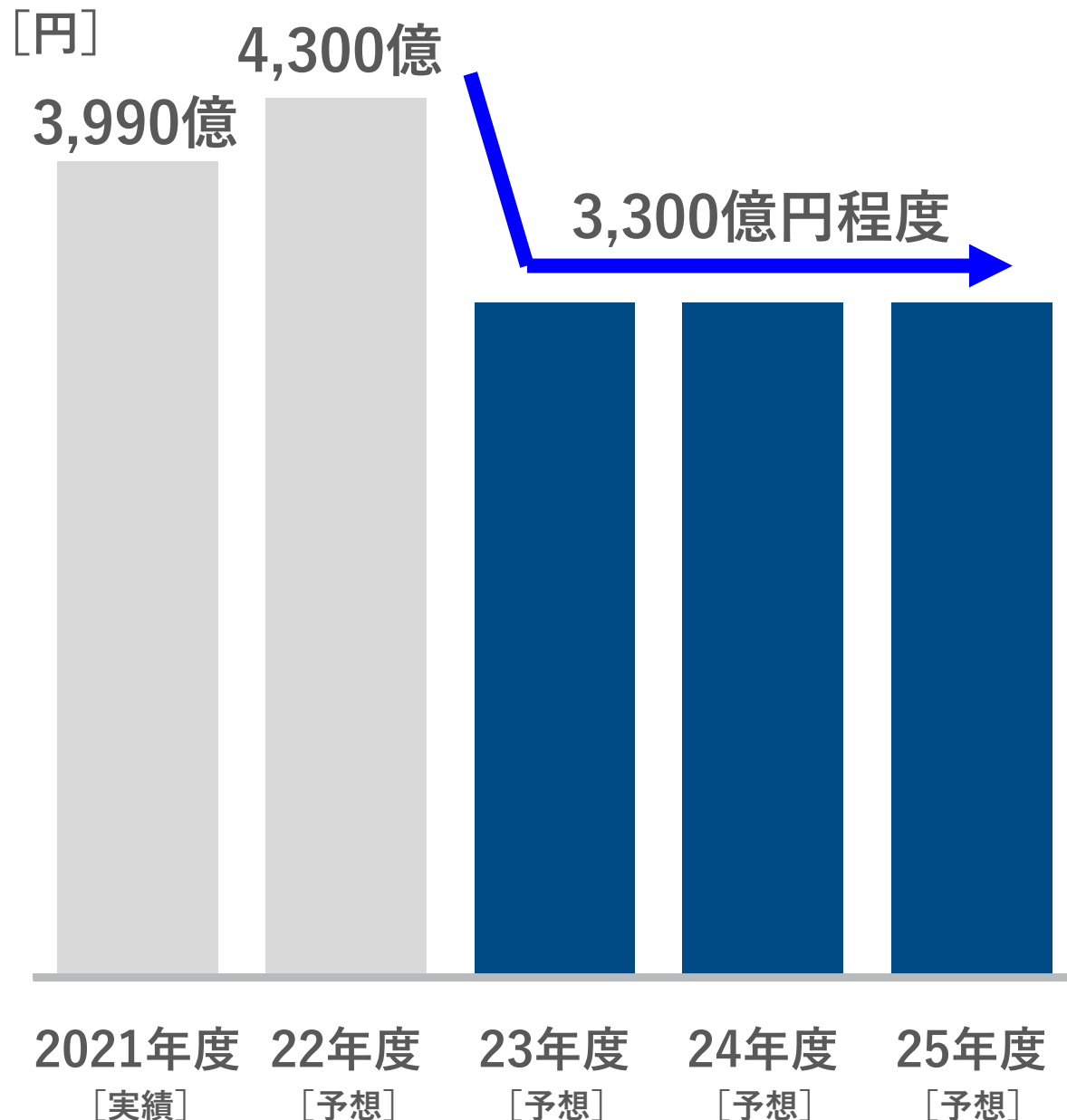
[予想]

ビジネスの営業利益は 22年度を底に増益へ

< 主な改善要因 >

- ① 売上高の増加
 - ・ 法人事業、ヤフー・LINE事業の成長
- ② 減収要因の縮小
 - ・ 通信料値下げ影響が一巡
- ③ コスト削減
 - ・ 減価償却費の減少
 - ・ ネットワーク運用コストの削減

設備投資 (コンシューマ事業・法人事業)



設備投資

1,000億円削減

(2022年度予想対比)

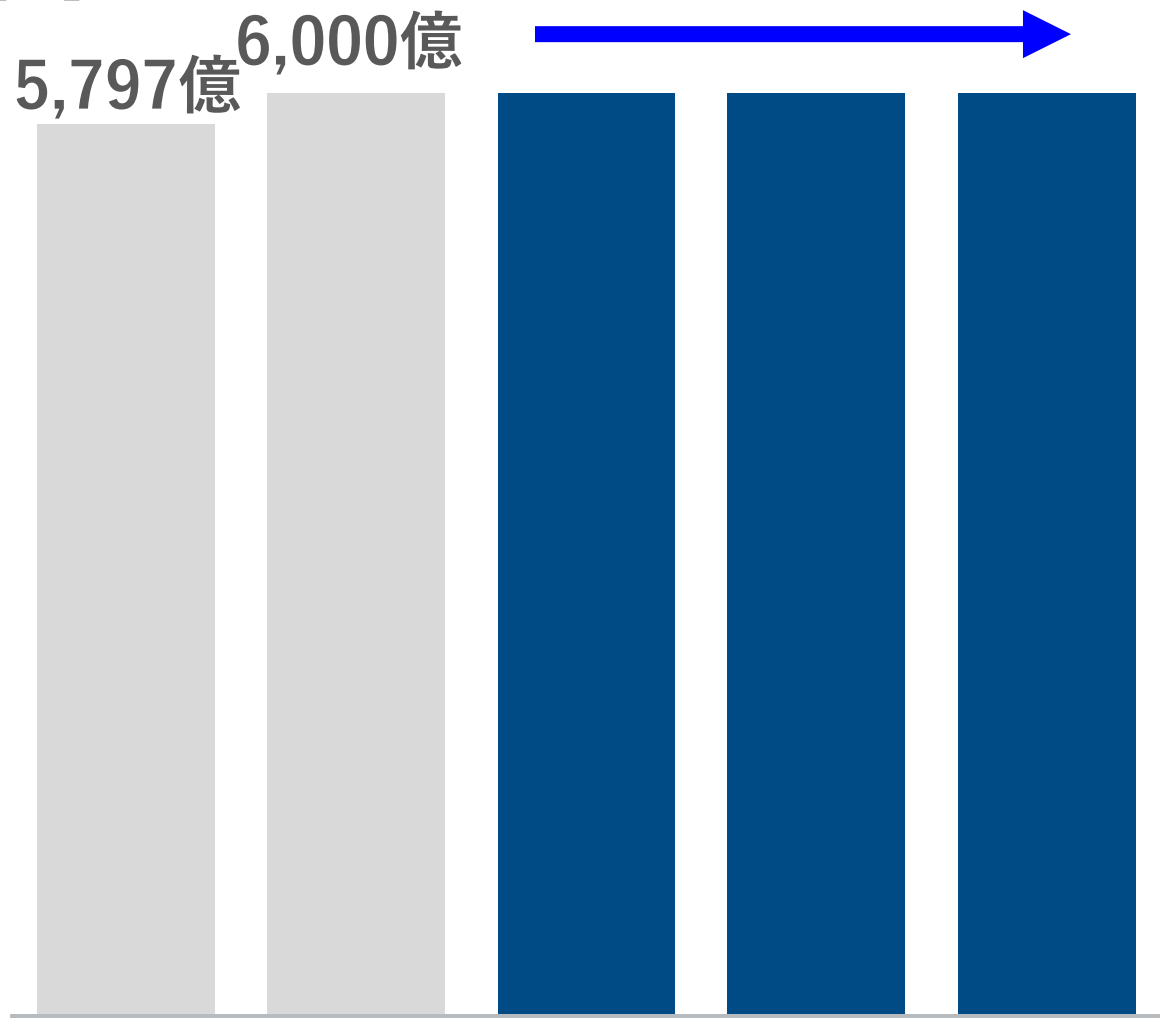
< 主な改善要因 >

2022年度までの集中投資で
5Gのエリア展開が一段落

(定義) 設備投資：検収ベース。法人向けレンタル端末および他事業者との共用設備 (他事業者負担額) にかかる投資額、IFRS第16号適用による影響を除きます。 33

調整後フリー・キャッシュ・フロー

[円]



フリー・キャッシュ・フロー
年間 **6,000億円**
水準を安定的に創出

2021年度 [実績] 22年度 [予想] 23年度 [予想] 24年度 [予想] 25年度 [予想]

(定義) 調整後フリー・キャッシュ・フロー：フリー・キャッシュ・フロー＋(割賦債権の流動化による調達額－同返済額) (注) Aホールディングス株式会社およびZホールディングスグループのフリー・キャッシュ・フロー、役員への貸付、2022年度のPayPay株式会社の業績影響などを除き、Aホールディングス株式会社からの受取配当を含みます。

	2022年度予想	2023年度以降の考え方
利益	中期目標である 営業利益1兆円を達成へ	通信料値下げ影響が一巡し ビジネスで増益（PayPay連結影響を除く）
設備投資	5 Gの展開加速に 向けて集中投資	5 G投資が一巡し 設備投資が大幅減
固定費	継続的なコスト効率化	減価償却費の減少 ネットワーク運用コストの削減など
調整後フリー・ キャッシュ・フロー [*]	6,000億円を予想	6,000億円水準を安定的に創出
株主還元	一株当たり配当金86円	高水準の株主還元

(*) 調整後フリー・キャッシュ・フロー：フリー・キャッシュ・フロー+（割賦債権の流動化による調達額－同返済額）、Aホールディングス株式会社およびZホールディングスグループのフリー・キャッシュ・フロー、役員への貸付、2022年度のPayPay株式会社の業績影響などを除き、Aホールディングス株式会社からの受取配当を含みます。

本日のアジェンダ

1

2021年度 連結業績

2

2022年度 連結業績予想

3

2023年度以降の考え方

4

事業別の取り組み

全体戦略

強力な事業基盤を背景にグループシナジーを最大化

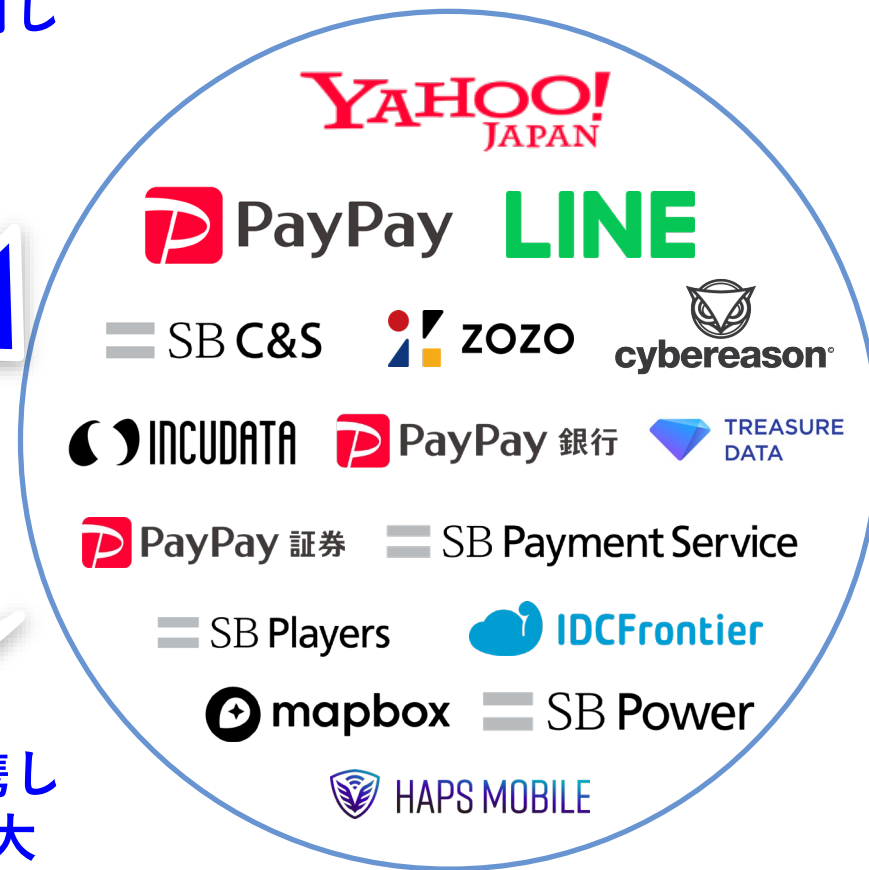
事業基盤



強力な事業基盤を活用し
各サービスが成長

有力なサービスと連携し
事業基盤をさらに拡大

多種多様なサービス群

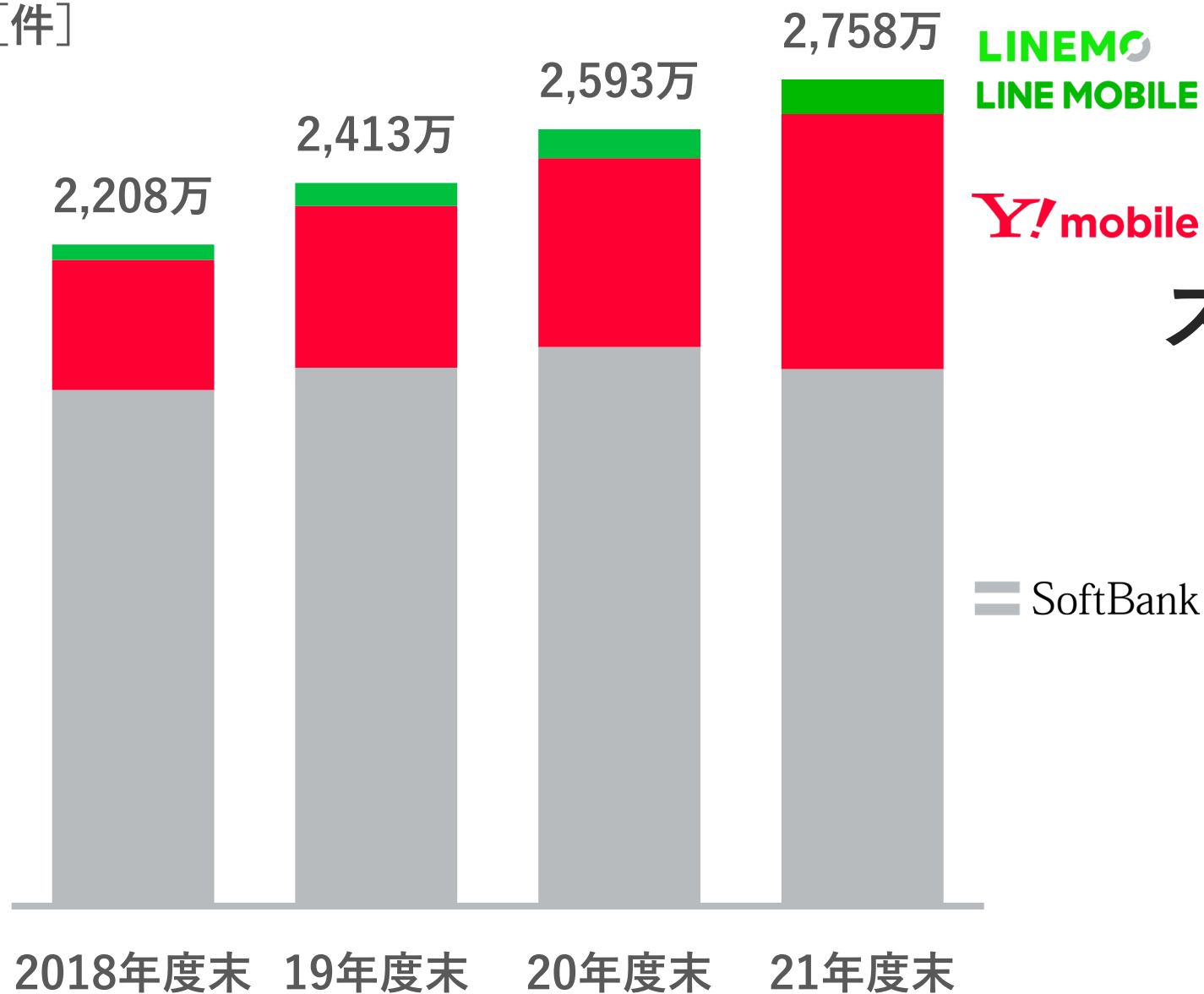


コンシューマ 事業



スマートフォン 累計契約数

[件]



スマートフォン契約数

6%増

モバイル契約 純増数

純増数が順調に回復

スマートフォン 純増数

[件]

69万

39万

33万

25万

21年度Q1

Q2

Q3

Q4

主要回線 純増数

スマートフォン、従来型携帯電話、タブレット端末、
モバイルデータ通信端末などの合計

40万

18万

6万

1万

21年度Q1

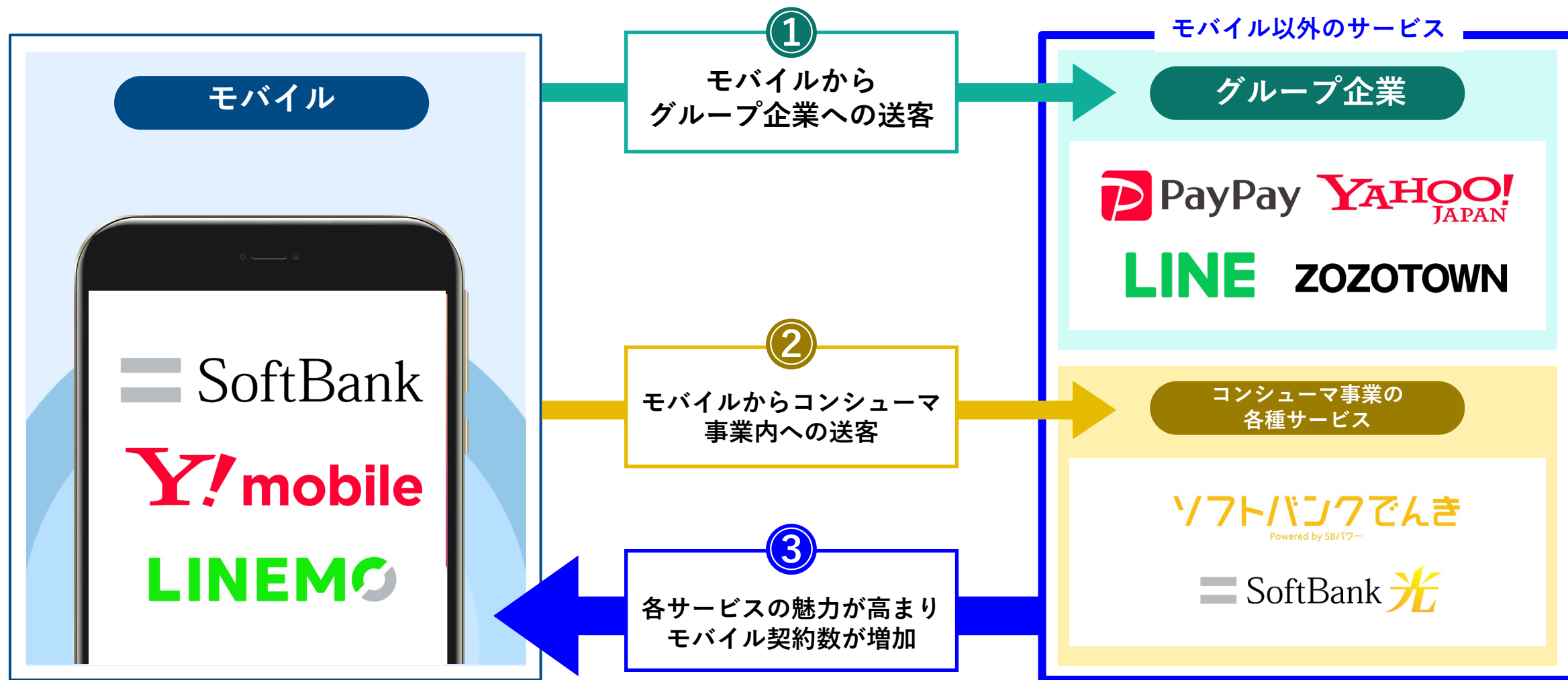
Q2

Q3

Q4

コンシューマ事業 今後の取り組み

シナジーによる好循環でビジネスを加速



シナジー ①モバイルからグループ企業への送客

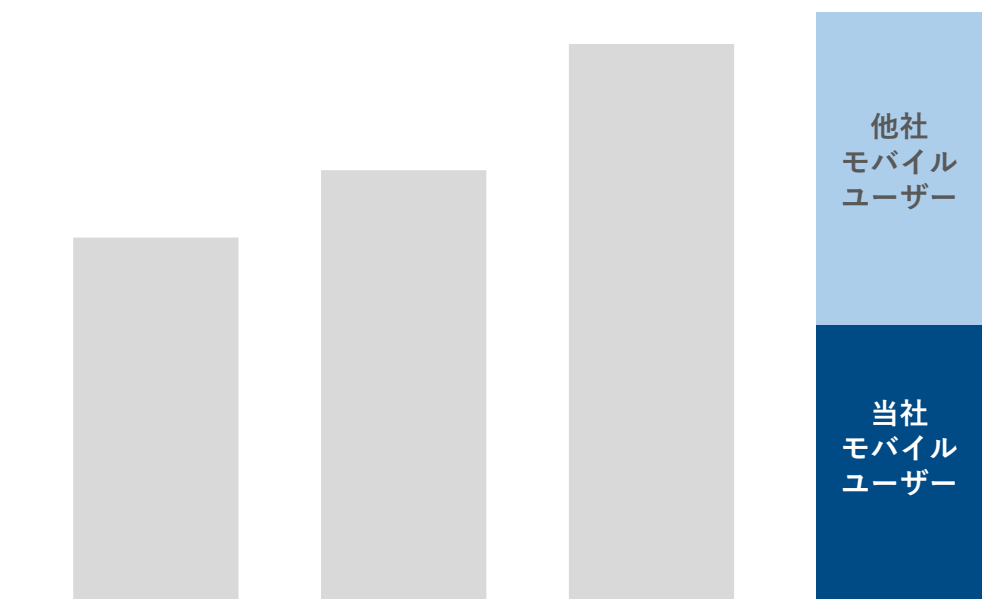
SoftBank



ショッピング取扱高

当社モバイルユーザー比率

47%



18年度

19年度

20年度

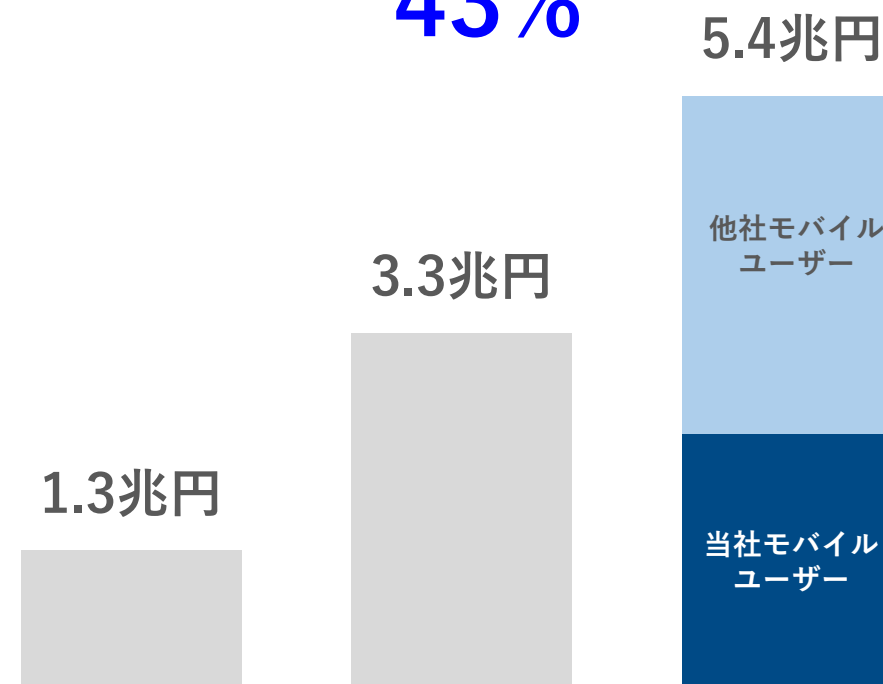
21年度



決済取扱高 (GMV)

当社モバイルユーザー比率

43%



1.3兆円

3.3兆円

5.4兆円

他社モバイルユーザー

当社モバイルユーザー

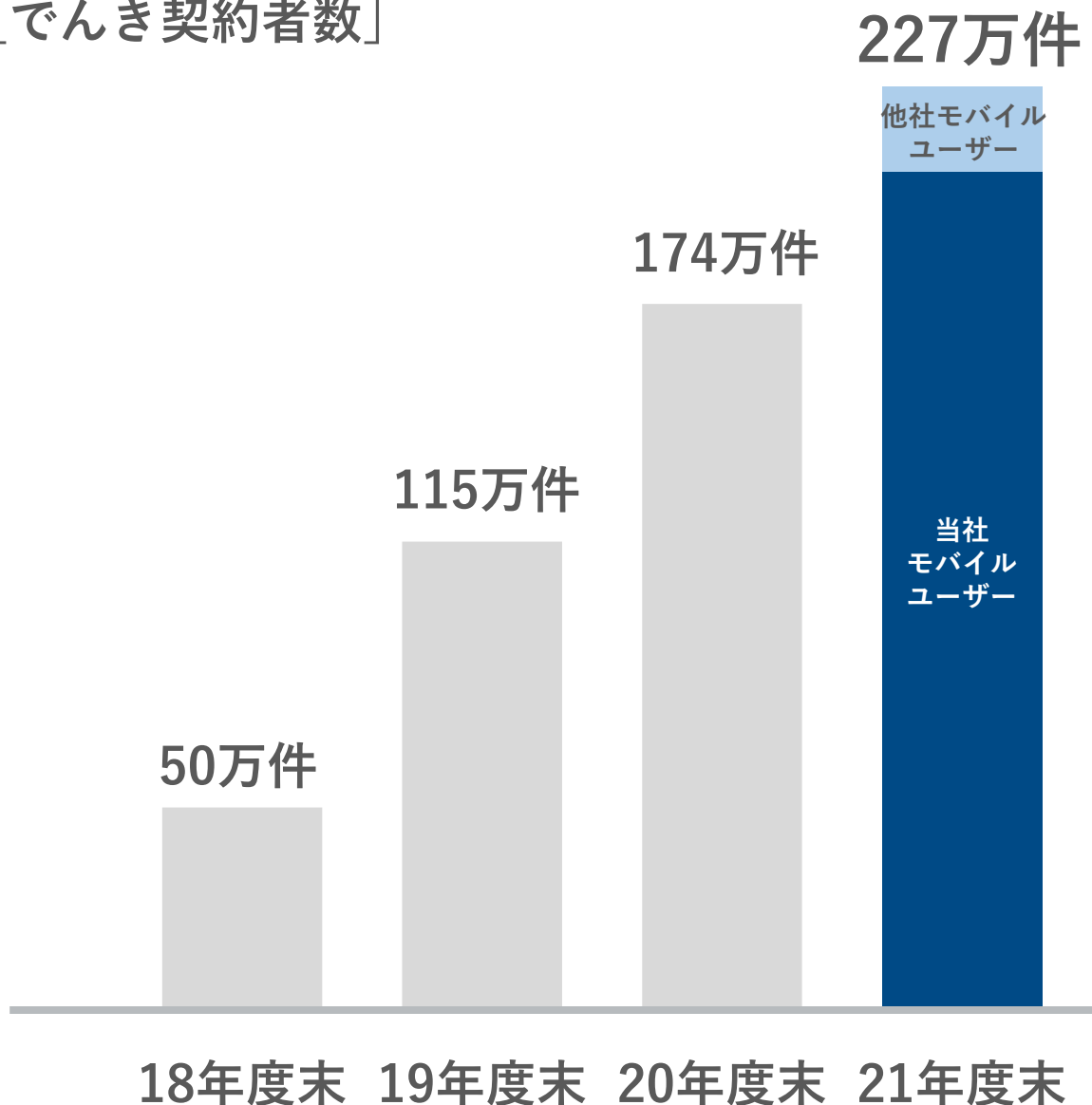
19年度

20年度

21年度

シナジー ②モバイルからコンシューマ事業内への送客

[でんき契約者数]



モバイルからの送客が
でんき事業の
成長に貢献

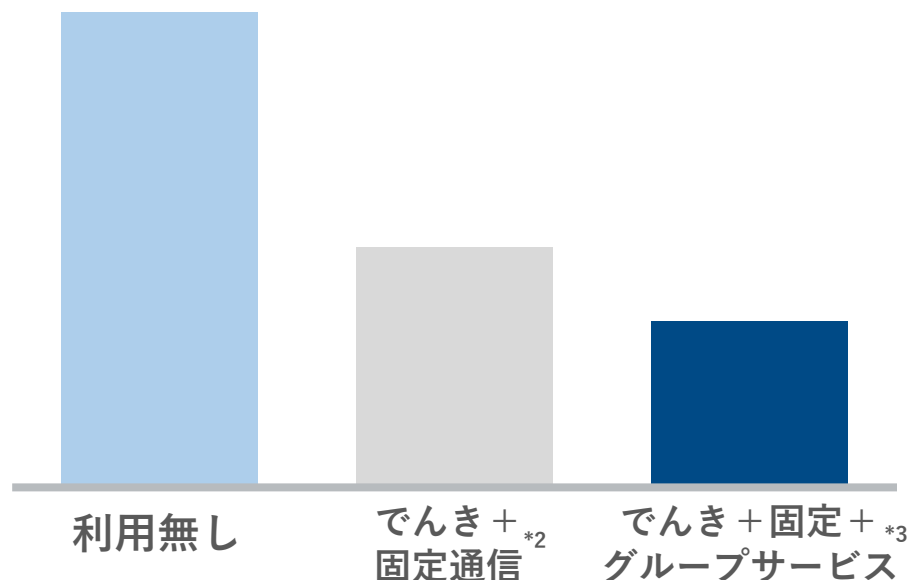
ソフトバンクでんき
Powered by SBパワー

シナジー ③モバイル契約数が増加

グループサービスが契約数の増加に貢献

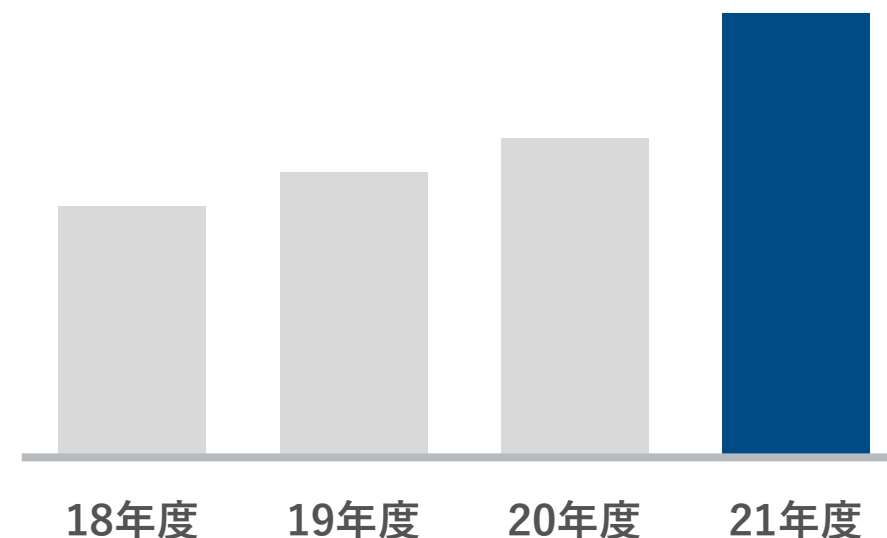
グループ内サービス利用で 解約が減少

■ グループサービス利用度別スマートフォン解約率（21年度Q4）^{*1}



グループ内サービスの利用を目的に 新規契約が増加

■ グループ企業のサービス利用を目的とした新規契約件数^{*4}
（ヤフーEC、キャッシュレス決済「PayPay」）



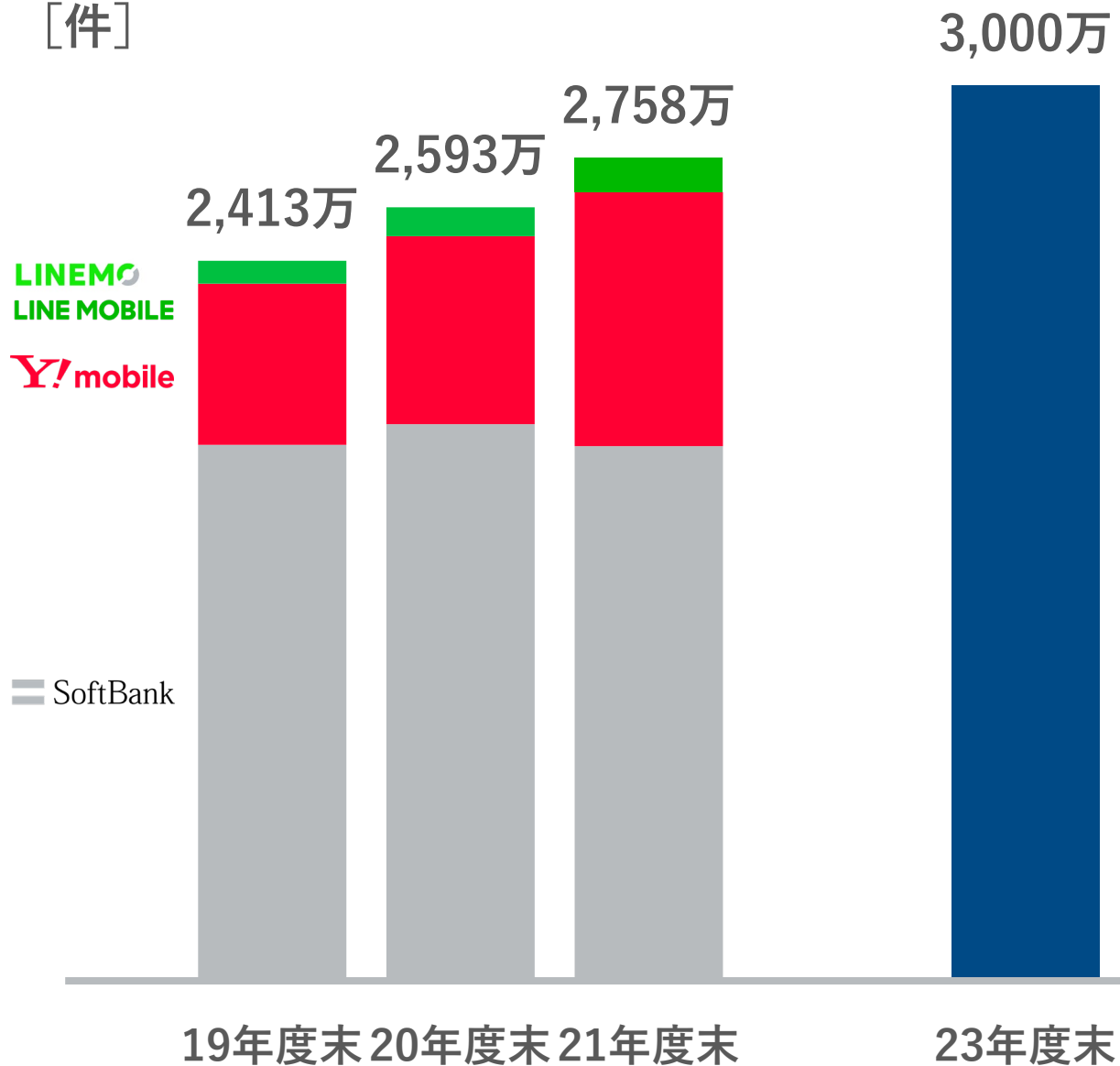
^(*1) 「ソフトバンク」ブランドおよび「ワイモバイル」におけるスマートフォン解約率。MNP(携帯電話番号ポータビリティ)による解約と純解約の合計をもとに算出しています。当社モバイルブランド内での転入・転出および、法人契約は除きます。

^(*2) 「SoftBank光」と「おうちでんき」両方のサービスを利用し、「Yahoo!ショッピング」、「PayPayモール」、「PayPay」のいずれのサービスも利用していないユーザー ^(*3) 「SoftBank光」と「おうちでんき」両方のサービスを利用し、「Yahoo!

ショッピング」、「PayPayモール」、「PayPay」のうち1つ以上のサービスを利用しているユーザー ^(*4) 「ソフトバンク」ブランドおよび「ワイモバイル」の新規契約ユーザーに対して行ったアンケートをもとにした当社推計値

スマートフォン 累計契約数

[件]



2023年度目標
スマートフォン契約数
3,000万

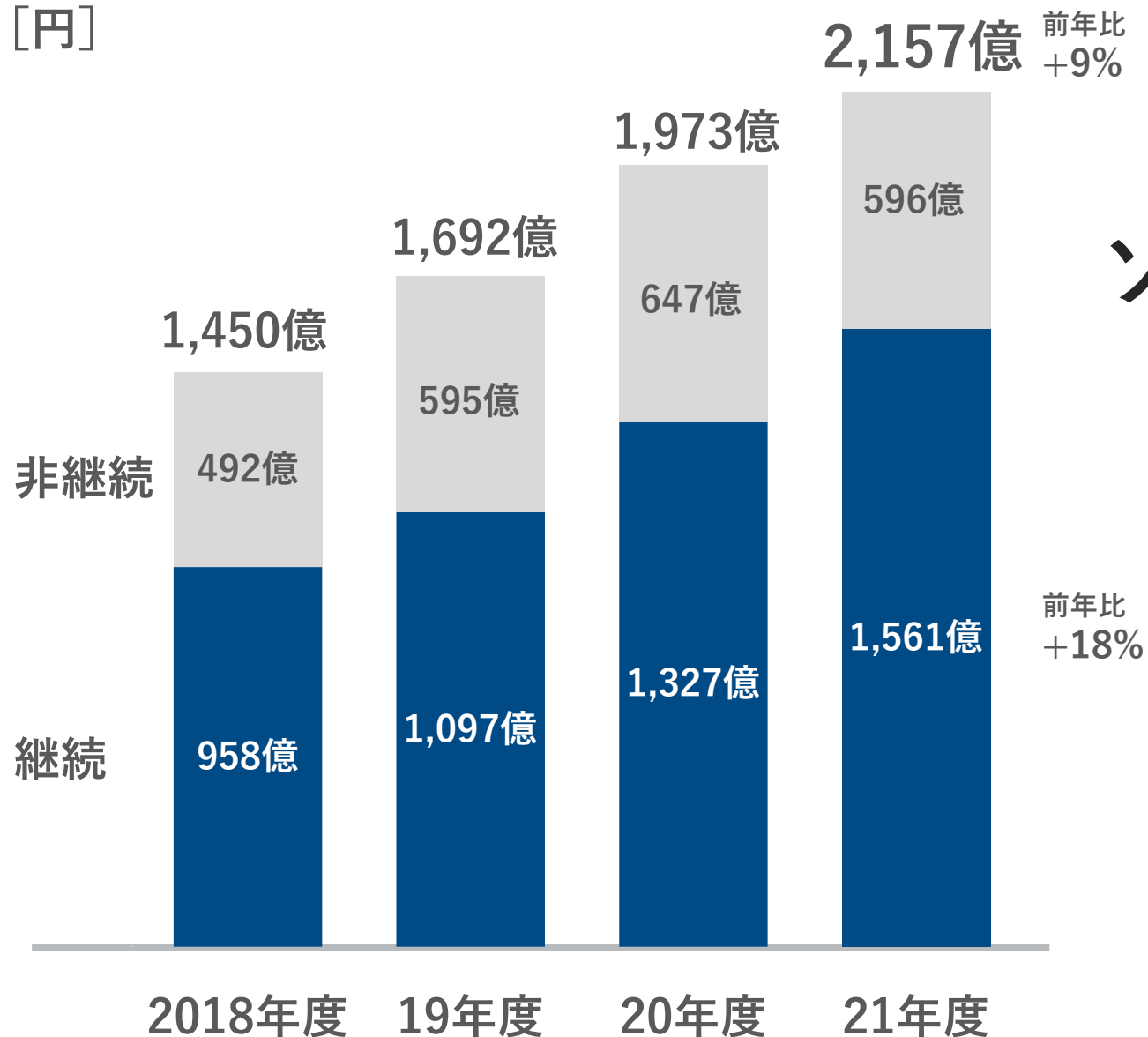
法人事業



法人事業 ソリューション等 売上高

SoftBank

[円]

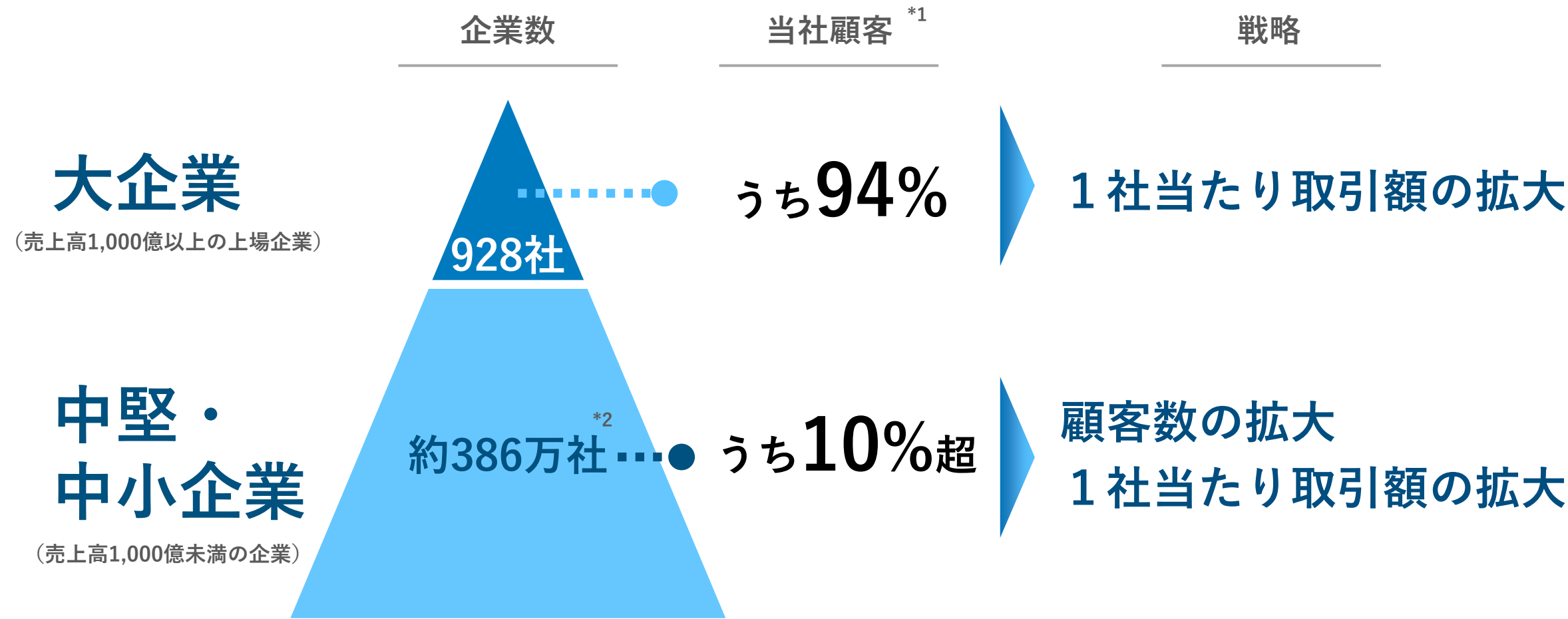


ソリューション等継続収入

18%増

前年比
+18%

企業規模に応じた戦略でビジネスを拡大



(*1) 2021年度に当社と取引があった企業 (*2) 出所：総務省・経済産業省「平成28年経済センサス - 活動調査結果」 48

企業規模に応じた戦略でビジネスを拡大

企業数

当社顧客 ^{*1}

戦略

大企業

(売上高1,000億以上の上場企業)

928社

うち94%

1社当たり取引額の拡大

**中堅・
中小企業**

(売上高1,000億未満の企業)

約386万社 ^{*2}

うち10%超

顧客数の拡大
1社当たり取引額の拡大

(*1) 2021年度に当社と取引があった企業

(*2) 出所：総務省・経済産業省「平成28年経済センサス - 活動調査結果」

課題解決型の複合提案で1企業あたりの収益拡大

スマホ導入企業へ
ソリューションを
クロスセル



デジタル
マーケティング起点で
クロスセル

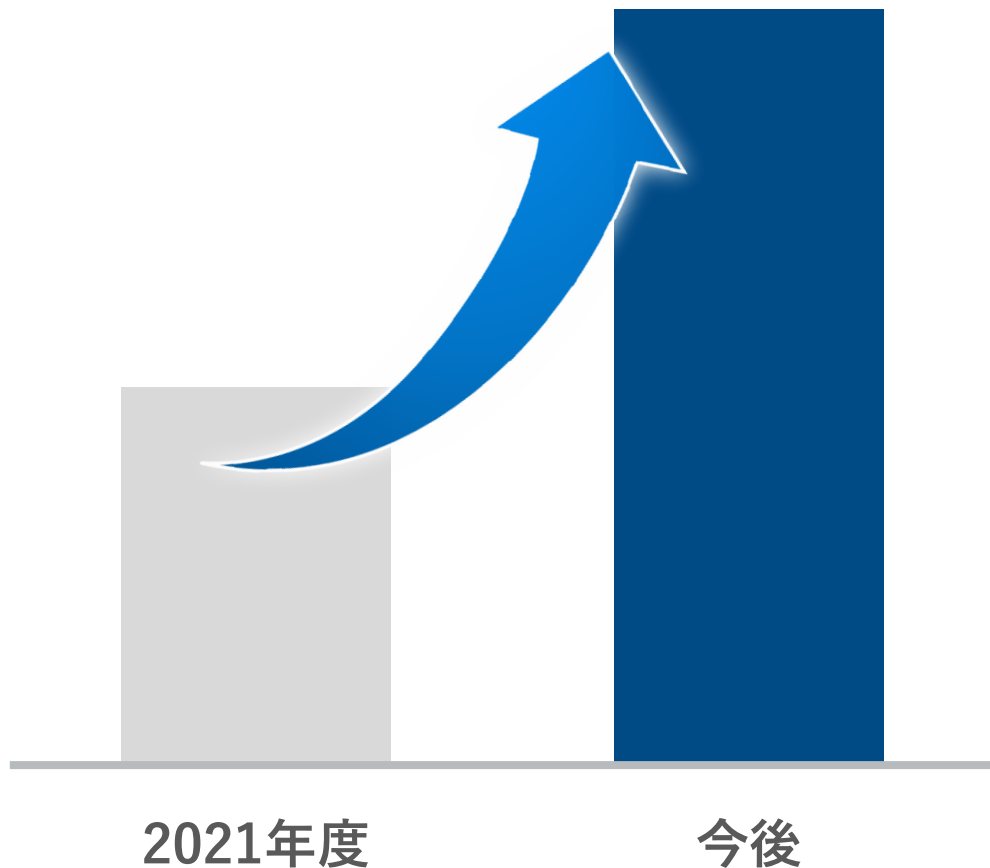


セキュリティ起点で
クロスセル



利益率の高い自社開発ソリューションを拡充

自社開発ソリューション売上



自社開発ソリューション

サキミル

(AI需要予測)



全国うごき統計*

(人流統計解析)

W+ Work Office+

(スマートオフィスアプリ)



ichimill

(高精度測位)

STATION

(AI映像解析プラットフォーム)

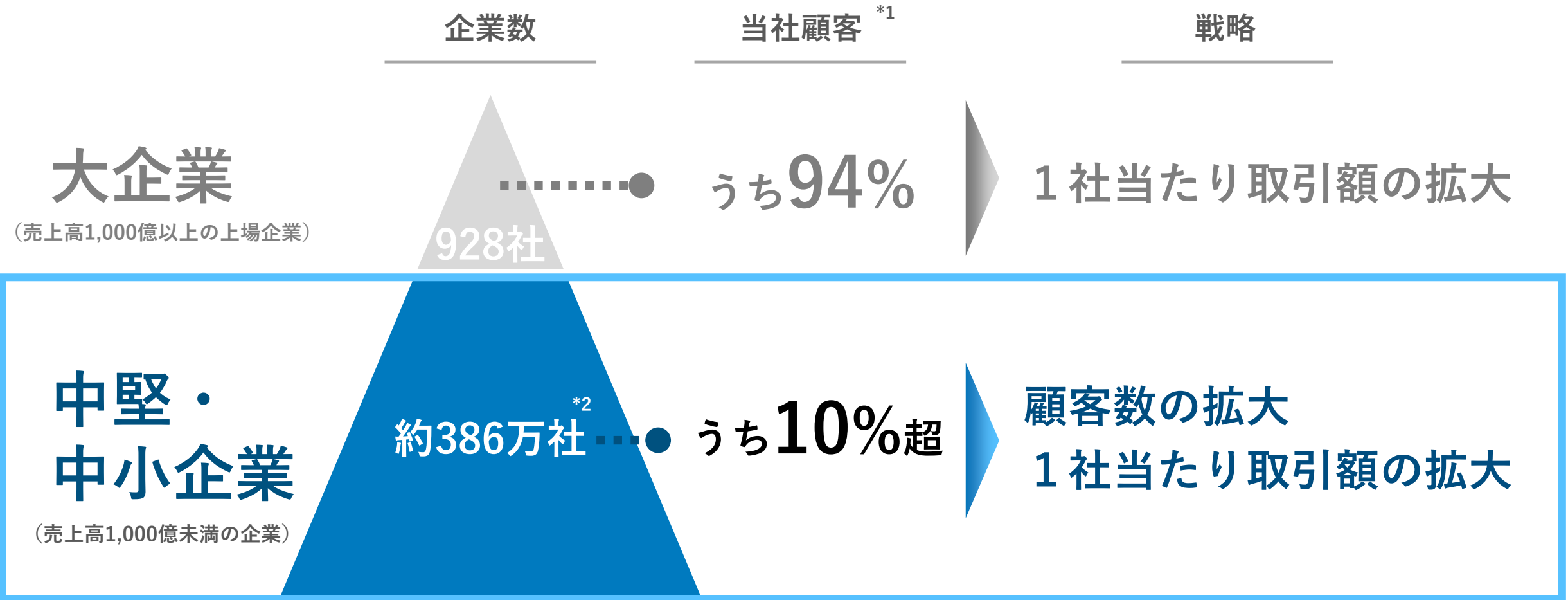


スマートAIカメラ

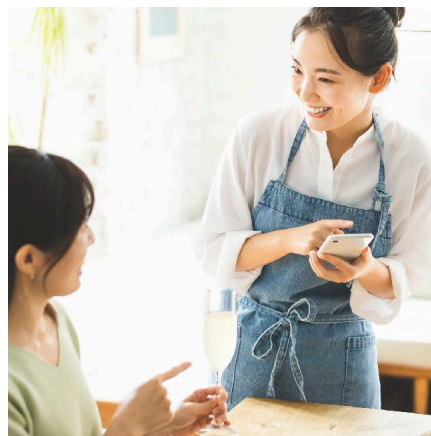
(クラウド映像監視)

(*) 取得した映像データは個人情報保護の観点から個人を特定しない状態で属性や滞留時間などの分析に利用されます。また、携帯電話の基地局を利用した人流統計データは個人を特定しないよう匿名化し、統計加工を行なった上で、個人を特定される可能性のある少人数のデータは含みません。

企業規模に応じた戦略でビジネスを拡大



新規顧客を積極的に開拓し、売上増を図る



年商1,000億円未満 企業
IT関連 市場規模 (2022年)

6.8兆円

中小企業層に強いグループ各社と連携強化

モバイルショップ

モバイルショップで法人サービスを紹介



流通事業

流通事業の販路パートナーを活用



アスクル

中小事業所向け通販サービス「ASKUL」の顧客基盤を活用



PayPay

中小加盟店を多数有する「PayPay」と連携を検討



グループアセットの活用で効率的に販売拡大



など

サービス＋販路

中小企業顧客

SoftBank

グループ企業一丸で 中小企業のDXを推進

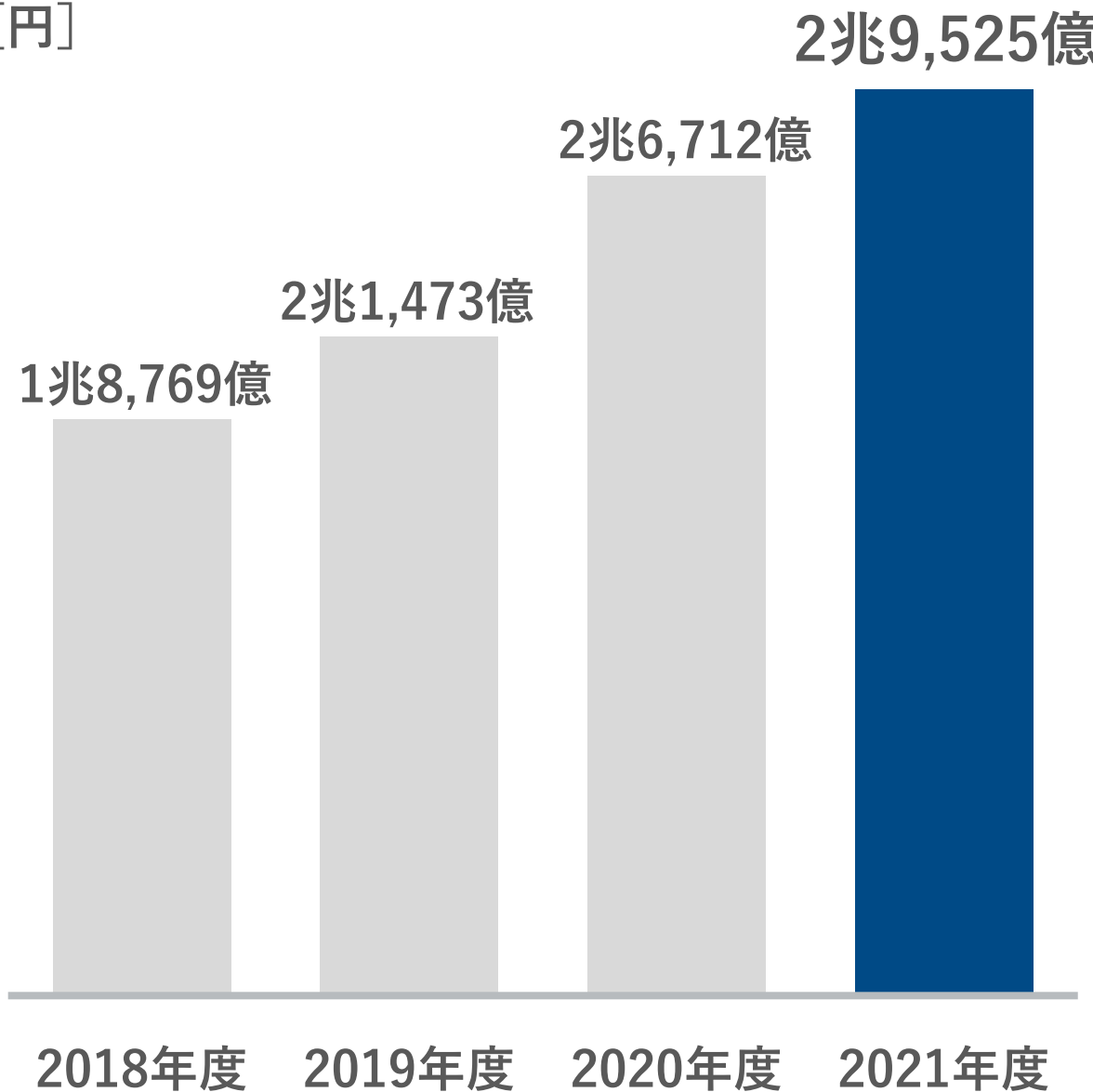
YAHOO! JAPAN

LINE



ヤフー・LINE事業 物販eコマース取扱高

[円]



物販eコマース取扱高

11%増

(定義) 物販eコマース取扱高：リユース事業の取扱高、ショッピング事業取扱高、その他(物販)取扱高、アスクル株式会社におけるBtoB事業インターネット経由売上収益(20日締め)を含みます。

(注) Zホールディングス株式会社の開示基準に従い、億円単位で端数の切り捨てを行っています。 58

ヤフー・LINE事業 今後の取り組み

クロスユースの促進で経済圏を拡大

<クロスユース施策>

ポイントアップ プログラムの実施

ヤフーサービス複数利用でポイント
の還元率がアップするプログラム
「PayPayステップ」を実施

YAHOO!
JAPAN

利用 ↑ 促進

PayPay

付与ポイントの 一本化

ヤフーサービス決済時の付与ポイント
を「PayPayポイント」に一本化

YAHOO!
JAPAN

連携 ↑ 強化

PayPay

ID連携

(予定)

YAHOO!
JAPAN

LINE

<経済圏の拡大>

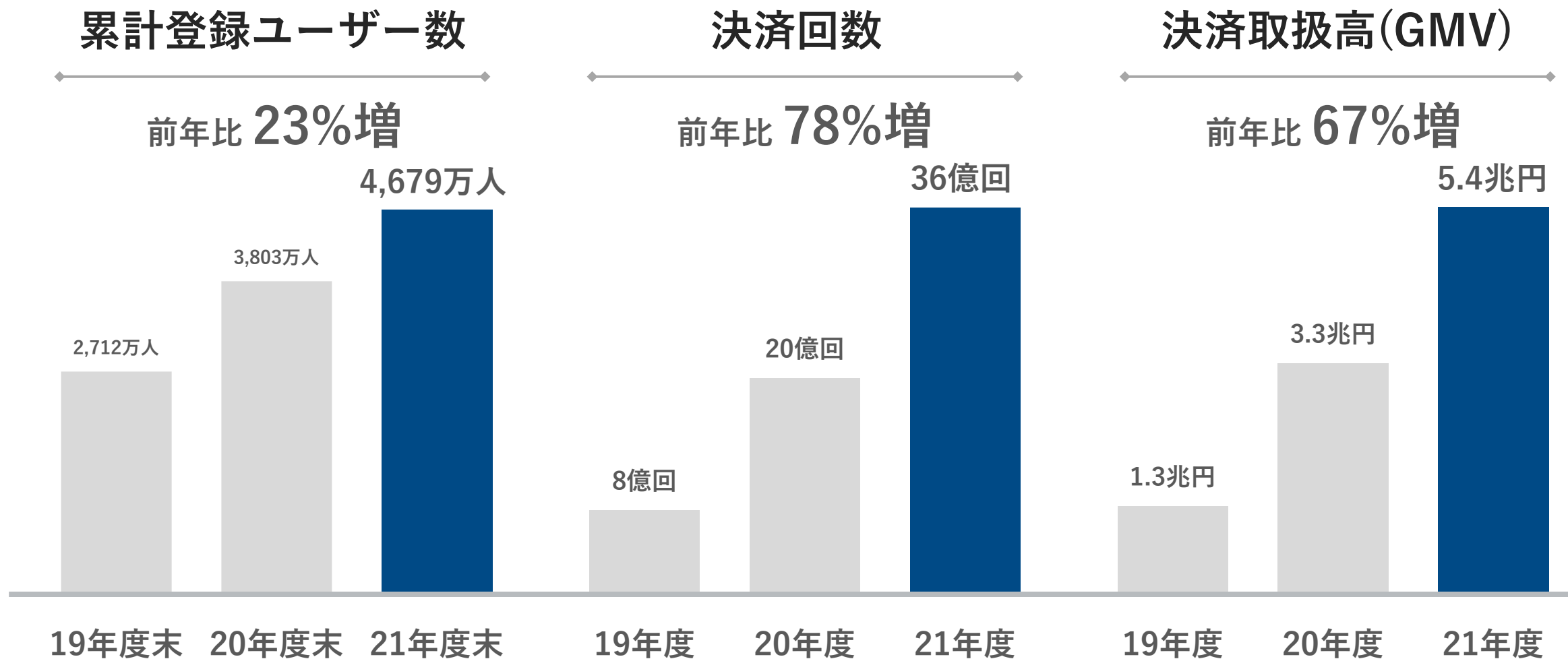
コマース・メディア
金融・決済が
一体となって成長





スマホ決済サービス 「PayPay」

決済取扱高が5兆円を突破



(出所) PayPay株式会社 (定義) 登録ユーザー数：アカウント登録を行ったユーザー数
 決済回数：ユーザー間でのPayPay残高の「送る・受け取る」機能の利用回数やAlipayアプリを利用した決済回数は含みません。決済取扱高：「PayPay」による決済総額(個人間送金などは含みません)

「PayPay」売上高



574億円

売上高

574億円

前年比 1.9倍

300億円

92億円

2019年度

2020年度

2021年度

(注) PayPay株式会社単体の売上高です。2021年度第4四半期において、同第1～3四半期に費用として計上していた店舗向け施策費用の一部など合計64億円を売上高から一括で控除しています。

事業の多層化により高収益を目指す

「PayPay収益モデル」

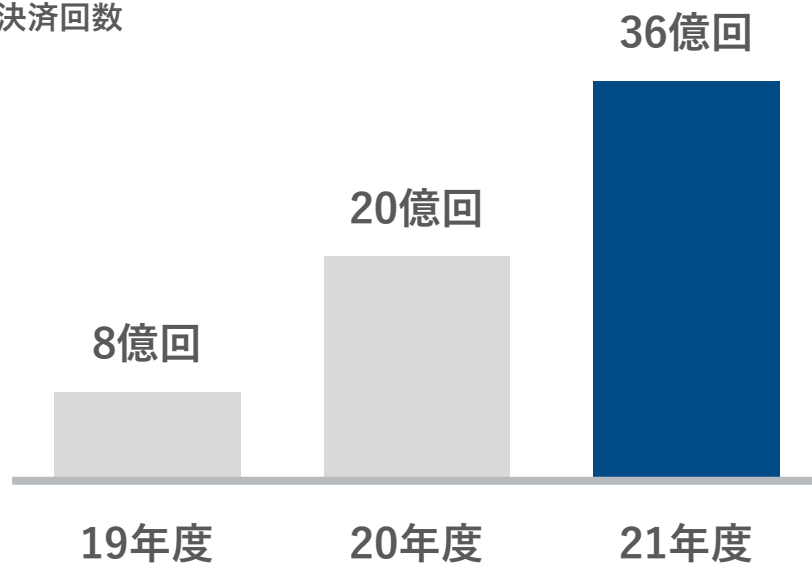


利便性向上を図り 決済取扱高を継続拡大

決済回数の増加

ユーザー数の増加/加盟店の拡大

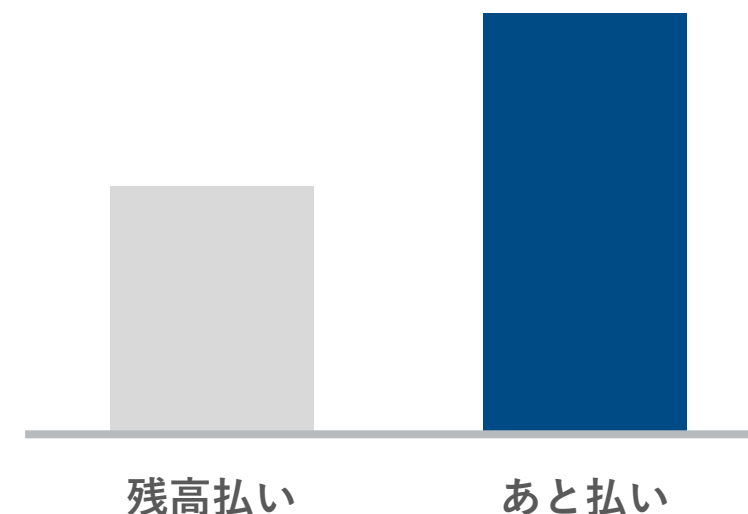
■ 決済回数



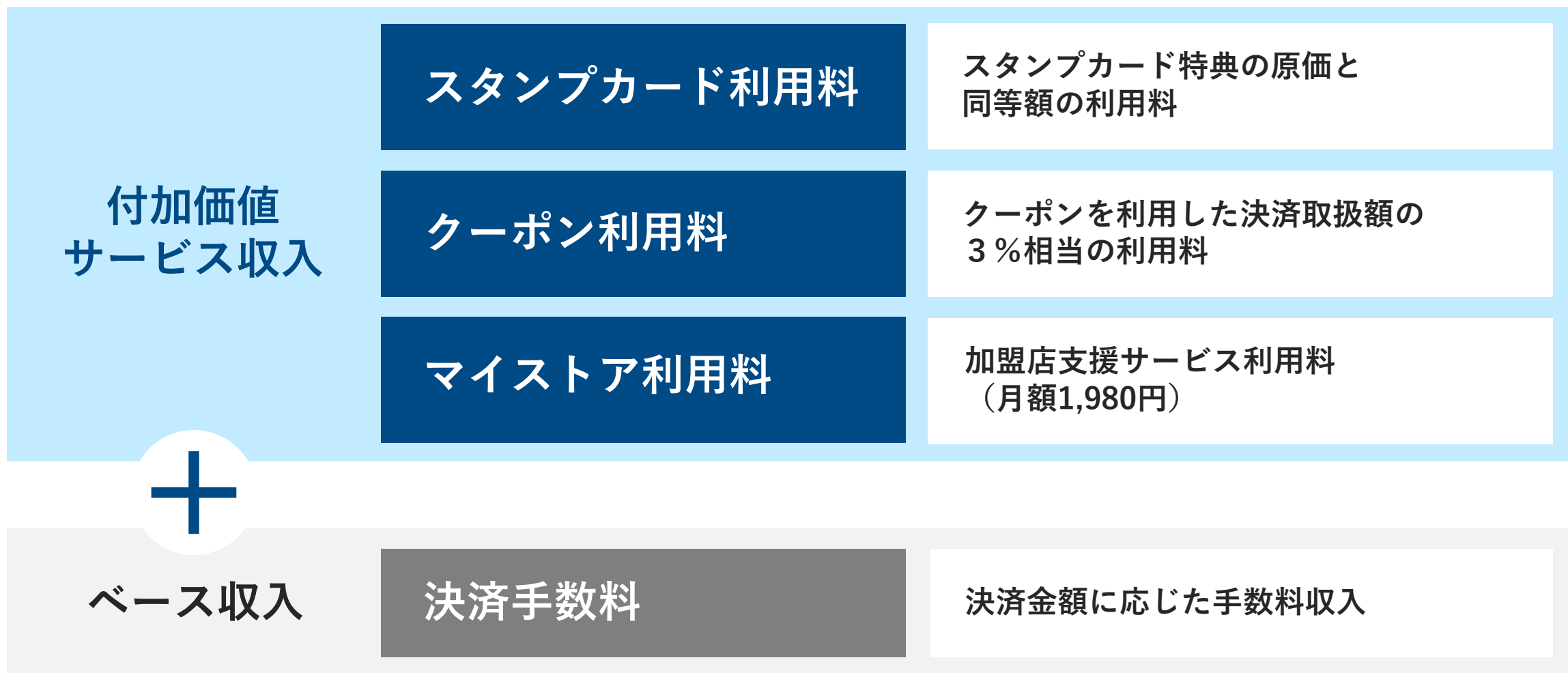
決済単価の上昇

あと払い機能の導入

■ 決済手段別 平均決済単価

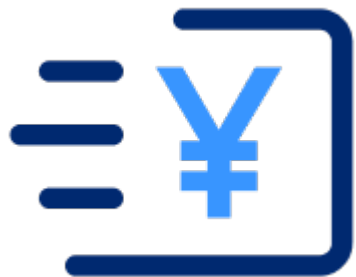


付加価値サービスの拡充により収入源を多様化



グループ内の金融サービスと連携を強化

個人向けローン



PayPay銀行

保険



PayPay保険

資産運用
ポイント運用



PayPay証券

あと払い/リボ払い



PayPayカード

	今後の戦略
コンシューマ	グループシナジーの推進を通じたモバイル契約数の拡大
法人	大企業市場：一社当たり取引額の拡大 中堅・中小企業市場：顧客数の拡大、取引額の拡大
ヤフー・LINE	クロスユースの促進による経済圏の拡大
PayPay	決済手数料収入の増加 加盟店向け付加価値サービス、金融サービスの拡大

本日のまとめ

1 2021年度：売上利益ともに過去最高

2 2022年度：営業利益1兆円達成

3 2023年度以降：通信料値下げ影響がピークアウト
ビジネスが増益回帰

4 事業別：モバイル顧客基盤を継続的に拡大
中堅・中小企業開拓による法人事業の市場拡大
PayPay連結子会社化*

(*) 当社およびヤフー株式会社が保有する優先株式に係る転換権が全て行使されることによりPayPay株式会社は当社の子会社となります。なお、当該転換権の行使にはPayPay株式会社の株主間で一定の合意が成立することが前提となります。



情報革命で人々を幸せに



The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, followed by the text "SoftBank" in a black serif font.

SoftBank